

saka Kyokai

engyo

2024.3
No.176
SPRING

特集

日本電設工業協会 令和5年度会員大会
開催テーマ「和」 ええとこ大阪へ、いらっしやい

報告

2024年 新春賀詞交歓会
業界の魅力を高める活動をさらに推進!

特集

第51回 電気工事士技能競技大会
51回目、新たな歴史が始まる!



一般社団法人 大阪電業協会

あなたの自慢ショットを募集

第4回 フォト自慢

募集期間

4/1～
7/31

結果発表:
会報2024年9月号

.....
あなたが撮った何気ないワンショットが、
私たちの暮らしを支えるすごく大切なものを表現しているかもしれません。
.....
あって当たり前の電気、なくてはならない電気、暮らしに欠かせない電気を写真で表現してみませんか。
.....



応募作品の中から、広報委員会メンバーの「これは、いいね!」を一番たくさん集めた作品が「自慢大賞」となります。



参加賞 1,000円 先着20名限定

1位～3位は商品券orギフトカード、参加賞はQUOカードを贈呈

テーマ

「電気設備のある暮らし」「電気設備をつくる人々」「電気設備をまもる人々」

応募方法



左のQRコード、もしくは協会ホームページの「フォト自慢」コーナーから、お気に入りのワンショットを投稿してください。

ファイル形式:jpg

ファイルサイズ:5MBまで

自慢ルール

- おひとりで何点応募していただいても構いませんが、ご自身が撮影した写真に限定してください。
- 応募いただく際は、30～50文字で「ここ見て」と思うポイントを記載してください。
- 応募後も作品の著作権は応募者にありますが、使用权は大阪電業協会（以下、本会）が有します。
- 投稿写真は、必ず被写体の承諾および使用許可を得てください。応募者と被写体およびその関係者の間で何らかの紛争が発生した場合、本会は一切の責任を負いかねます。
- 内容が下記に相当すると判断した場合、本会は何ら通知などを行わずに、フォト自慢の対象外とすることができるものとします。
 - ①自慢ルールに反するもの。
 - ②公序良俗に反し、または反する恐れのあるもの。
 - ③第三者の著作権、肖像権その他の権利を侵害し、または侵害する恐れのあるもの。
 - ④第三者を誹謗中傷し、またそのプライバシーを侵害するもの。法令等に違反し、または犯罪行為に結びつくもの。また、それらの恐れのあるもの。当フォト自慢の趣旨などに合わないことが本会が判断したもの。
 - ⑤当フォト自慢の適正な運営を妨げるもの。また、その恐れのあるもの。
 - ⑥応募作品のデータが判読不能なもの。

会員の皆さまからの
応募をお待ちして
おります。





CONTENTS

2024.3 No.176 SPRING

一般社団法人 大阪電業協会 会報

表紙を飾るのは、昨年(2023年)10月の二大イベント、日本電設工業協会 令和5年度会員大会、そして第51回電気工事士技能競技大会です。関西支部の総力を挙げたおもてなし振りを、技能伝承の新たな始まりを誌面から感じてください。

日本電設工業協会 令和5年度会員大会

特集

開催テーマ「和」
ええとこ大阪へ、いらっしやい

2

大阪電業協会の組織と委員会メンバー

8

総務委員会

2024年 新春賀詞交歓会

報告

**業界の魅力を高める
活動をさらに推進!**

10

2023年度 永年勤続者表彰

永年にわたる業界への貢献に感謝を込めて

13

令和5年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰

栄えある受賞、おめでとうございます!

15

経営委員会

働き方改革の推進

働き方改革の推進に向けた申入れ活動を展開

16

公共工事発注機関との意見交換

発注者側の理解を求める活動を継続

17

青年部会

2023年度 女性活躍推進研修

視点を変えれば未来が変わる

19

2023年度 デイキャンプ活動

子供たちとの楽しい時間を過ごしました

20

2023年度 レクリエーション活動

笑顔をありがとう!

21

日本赤十字社大阪府支部寄付金贈呈

募金活動で20万円を寄付

21

中小部会

若年退職者の防止策

退職防止あの手この手

22

積算業務基礎講習

職種を超えた知識を習得しよう!

23

技術・技能委員会

第51回 電気工事士技能競技大会

特集

**51回目、
新たな歴史が始まる**

25

資材部会

第31回 会員企業見学会

未来に向けた新しいビジネス拠点を見学

32

労務・安全委員会

2023年度 登録電気工事基幹技能者認定講習・職長教育
技能労働者の目標像としての活躍を期待!

33

人材部会

学校関係者との意見交換

引き続き業界の魅力を発信!

35

広報委員会

第30回 電気工学系大学生現場見学

見て、感じて、学ぶ!

「NTT都市開発(仮称)御堂筋淡路町ビル新築工事」現場を見学

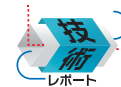
37

あなたの自慢のショットを募集「フォト自慢」審査結果発表

これは、いいね!...「自慢大賞」発表

38

読み物



端子締付け管理システムの開発

株式会社きんでん 京都研究所 江川 正人

42



豊臣秀吉の生誕地

「名古屋市中村区」

株式会社トーエネック 大阪本部 加藤 憲二郎

44



2023年のふたつのイベント

栗原工業株式会社 長谷 陽子

46

理事会だより

48

会員往来

52

2024年度 主要行事予定

53



～国や地方自治体が発信している情報を、
どれだけご存知ですか?～

54

会員諸変更届/編集後記

特集

開催テーマ「和」

ええとこ大阪へ、いらっしやい

10月12日（木）、帝国ホテル大阪に約500名の会員をお迎えし、日本電設工業協会会員大会を開催しました。9年に一度の当番会となった関西支部では、開催テーマとして「和」を掲げ、おもてなしの精神を最大限発揮することを申し合わせ、万全の準備にあたりました。

「和」には、人の集まりや人と人との繋がりという意味があり、志を共有する仲間同士の「和」があって初めて、発展する業界団体になるものと考え、調和の「和」を感じていただける大会となるよう企画しました。



会員大会会場全景

会員大会

日 時:10月12日(木) 14:15~16:15
場 所:帝国ホテル大阪 3階「エンパイアルーム」
会長挨拶:会 長 山口 博
来賓挨拶:大阪府副知事 森岡 武一 様
:国土交通省 近畿地方整備局長 見坂 茂範 様
司 会:田畑 智佳子



山口会長 開会挨拶

基調報告

1.「生産性向上で働き方改革の推進！」

牧野 俊亮 技術・安全委員会 生産性向上新技術検討WG主査
(㈱関電工 特任理事戦略技術開発本部)

2.「入職促進活動と業界の課題について」

岩本 浩一 (一社)大阪電業協会 労務・安全委員会 人材部会長
(㈱キンコー 代表取締役社長)



森岡大阪府副知事 ご祝辞

3.「中小部会事業活動について～7年間の軌跡と夢～」

(一社)大阪電業協会 経営委員会中小部会
橋本 博司 (同部会長・旭電設㈱ 代表取締役社長)
堀田 吉範 (同部会長代行・宏電エテック㈱ 代表取締役社長)
原 智哉 (同部会副部会長・㈱昭光電業社 代表取締役社長)
中山 武圭 (同部会運営委員・大阪電気機工㈱ 取締役)
渡部 憲一 (同部会運営委員・㈱ワタベ 代表取締役社長)



見坂近畿地方整備局長 ご祝辞

大会決議採択 提案説明 運営委員長 土屋 忠巳

開催に際し、山口会長は、2024年4月からの「時間外労働の上限規制適用」への対応を最重要課題と位置づけ、会員自らの意識改革と、前例にとられない取り組みにチャレンジし、何としてでも乗り越えなければならないと述べ、働き方改革や魅力ある職場づくりの取り組みを加速させる必要性を強調しました。

当日は、多くの来賓にご臨席をいただき、来賓を代表して、森岡大阪府副知事、見坂近畿地方整備局長のおふたりから、ご祝辞を頂戴しました。



実行委員会



佐藤実行委員長



受付風景



基調報告では、初めに、技術・安全委員会 生産性向上新技術検討WGが取り組んでいる現場施工及び施工管理業務の「生産性向上」に効果的な資機材、ソフトウェア、工具類等についての紹介がありました。

続いて、大阪電業協会 人材部会と中小部会から、電設業界における共通課題の本質に迫る「業界への入職促進に特化」した活動と「中小企業自らが創りあげ、自己成長につなげる」「個々の中小企業だけでは解決できない悩みや課題を共有し、優先順位を明確にして改善に取り組む」活動

について説明を行いました。

自社について、自分自身について本音で語る「本物の議論」を展開してきた迫力のある報告が展開され、多くの参加者から「素晴らしい内容だった」「とても感銘を受けた」との感想をいただきました。

大会決議では「時間外労働の上限規制適用」への的確な取り組みを行うためのスローガンが提示され、満場一致で採択されました。

基調報告



岩本人材部会長



橋本中小部会長



原中小部会副会長



堀田中小部会長代行



中山中小部会運営委員



渡部中小部会運営委員

呈茶

日 時:10月12日(木) 16:15~16:45
場 所:帝国ホテル大阪 5階「吉野の間」



呈茶席全景



呈茶での寛ぎ

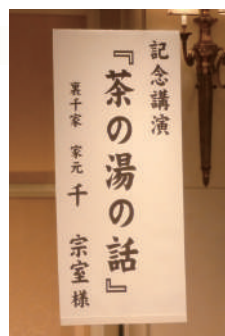
30分間の休憩時間を利用して「裏千家による呈茶での寛ぎ」を体験いただきました。裏千家今日庵業跡 松井 宗豊 様による呈茶席が設けられ、各支部において事前に指名を受けた40名の方々に対して、薄茶とお菓子が振る舞われました。

記念講演会

日 時:10月12日(木) 16:45~17:45
場 所:帝国ホテル大阪
3階「エンパイアルーム」
演 題:『茶の湯の話』
講 師:茶道裏千家 家元
千 宗室 様



千 宗室家元 記念講演



千 宗室家元から、茶道の「四規七則」をご紹介いただき、茶の湯の心や世界についてお話しを伺いました。

茶の湯は「引き算」であり、いらないものを徹底的にそぎ落とし、必要なものだけを取り込むこと、ものを見極める覚悟を持ち、先の世のために行動することが、千利休の時代から何ひとつ変わらない教えであるとお話しいただきました。

四規 和敬清寂(わけいせいじゃく)

「和」:自分を見つめるのと同じ目線で、相手の良いところを探す
「敬」:自分を敬うのと同じ気持ちで、相手を敬う
「清」:お互いが、自身の心を清め合う同志だと信じる
「寂」:不要なものを持たない心を持つ

七則

茶は服のよきように点て炭は湯の沸くように置き夏は涼しく冬は暖かに花は野にあるように刻限は早めに降らずとも雨の用意相客(あいきゃく)に心せよ

懇親会

日 時: 10月12日(木) 18:00~20:00
場 所: 帝国ホテル大阪 3階「孔雀の間」
歓迎挨拶: 関西支部長 上坂 隆勇
来賓挨拶: 経済産業省 中部近畿産業保管監督部
近畿支部長 斎藤 秀幸 様
乾 杯: 関西電力送配電株式会社
代表取締役社長 白銀 隆之 様
アトラクション: 京都祇園甲部 芸舞妓
~手打~・~祇園小唄と演舞~
伸栄龍神會
~大坂だんじり囃子・龍踊り~
会旗伝達式: 関西支部 上坂 隆勇 支部長から
次期開催 北海道支部
藪下 裕己 支部長へ
次期開催支部長挨拶
閉会挨拶: 副会長 坂崎 全男



上坂関西支部長 歓迎挨拶



中部近畿産業保安監督部
近畿支部 斎藤支部長 ご祝辞



関西電力送配電株式会社
白銀社長 乾杯ご発声

懇親会は、格調高い京都祇園甲部の伝統文化「手打」で幕を開けました。揃いの黒留袖を着た芸妓衆が、拍子木を打ち鳴らし入場する姿はとても凛々しく、見る者を釘付けにしました。

「手打」に続いて、上坂関西支部長の歓迎挨拶、斎藤近畿支部長による来賓挨拶があり、白銀関西電力送配電株式会社社長のご発声により乾杯を行いました。

しばらくの歓談の後、仲栄龍神會による「大坂だんじり囃子・龍踊り」を披露いただきました。大阪天神祭の名物

としても有名であり、一糸乱れぬバチ捌きと圧巻の踊りを堪能しました。

その後は、再び、京都祇園甲部の芸舞妓さんに登場いただき「祇園小唄と演舞」を披露いただきました。

懇親会場では、芸妓さん、舞妓さんにお酌に回っていただき、参加者の皆さまには、京ことばによる会話や、ご自身のスマートフォンによる記念撮影をお楽しみいただきました。



懇親会終盤には「会旗伝達式」が行われ、上坂関西支部長から藪下北海道支部長に対して、大会旗をお渡ししました。北海道支部が作成された魅力満載の動画の投影が

あり、多くの人が「北海道に行ってみたい」という気持ちになったのではないのでしょうか。



会旗伝達式



会旗伝達式 上坂関西支部長(左)・藪下北海道支部長(右)



長時間の司会進行に対応いただいた
田畑 智佳子さん



懇親会会場風景



懇親会会場風景

懇親会の締めくくりに、坂崎副会長が登壇して閉会挨拶を行い、当日の行事が全て滞りなく終了しました。



坂崎副会長 閉会挨拶

会員見学会

日 程:10月13日(金)

Aコース:水の都・再発見!こんなんあったの大阪の旅(参加者 24名)

Bコース:古都京都の神社拝観と京料理を満喫する旅(参加者 32名)



落語家と行く・なにわ探検クルーズ



大阪名物・551蓬莱



大本山・大徳寺「瑞峯院」拝観



京料理「六盛」 手をかけ料理

会員ゴルフ大会

日 程:10月13日(金)

場 所:宝塚ゴルフ倶楽部(参加者 78名)



優勝 松尾 修一さん
(一社) 熊本県電設業協会 会長



表彰式会場



森委員長 閉会挨拶

会員大会の翌日も好天に恵まれ、観光やゴルフを満喫していただきました。

会員大会の準備・運営に際して、関西支部管下の電業協会から、数多くのスタッフを派遣いただきました。時として、業務を圧迫しかねない懸念もあったかもしれませんが、皆さまの献身的なご協力のおかげを持ちまして、多くの参加者から称賛いただく大会とすることができました。誠にありがとうございました。

(関西支部 事務局 記)

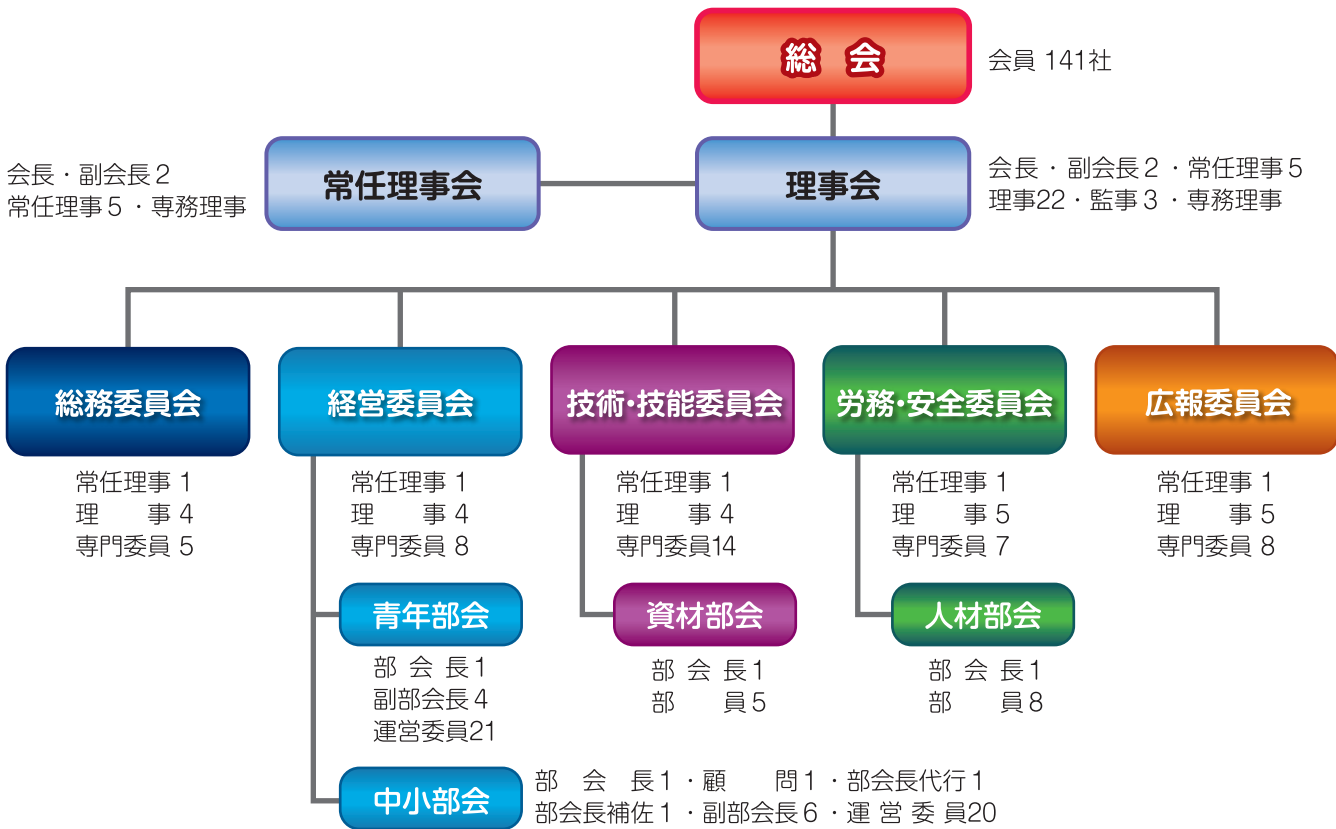
大阪電業協会の組織と委員会メンバー

2024年3月21日現在

会 長 上 坂 隆 勇 (株)きんでん

副会長 坂 崎 全 男 (住友電設(株))

副会長 横 井 正 温 (栗原工業(株))



総務委員会

委員長 告野 満彦 (野里電気工業(株))
(常任理事)
理事 坂本 恵一 (近畿設備(株))
理事 富永 昌雄 (八千代電設工業(株))
理事 橋本 博司 (旭電設(株))
理事 遠竹 泰 (株)ミライト・ワン

専門委員 若林 敬昭 (八千代電設工業(株))
専門委員 藤井 勇人 (野里電気工業(株))
専門委員 辻本 洋克 (辻本総合設備(株))
専門委員 長谷 陽子 (栗原工業(株))
専門委員 川部真太郎 (住友電設(株))

経営委員会

委員長 佐藤 守良 (株)きんでん
(常任理事)
理事 尾倉 修 (住友電設(株))
理事 笠島 浩一 (共栄電業(株))
理事 西尾 崇 (株)西尾電設
理事 瀧 宏之 (栗原工業(株))
専門委員 福田 広和 (栗原工業(株))
専門委員 平田 勝久 (八千代電設工業(株))

専門委員 廣畑 善光 (東海電設(株))
専門委員 渡部 憲一 (株)ワタベ
専門委員 小寺 正教 (株)きんでん
専門委員 河本 健 (日本電設工業(株) 大阪支店)
専門委員 屋渡 健 (住友電設(株))
専門委員 吉年竜太郎 (中央電設(株))

青年部会

部会長 1名 福祉委員会 5名
副部会長 4名 実務委員会 4名
総務委員会 6名 交流委員会 6名

中小部会

部会長 1名 部会長補佐 1名
顧問 1名 副部会長 6名
部会長代行 1名 運営委員 20名

技術・技能委員会

委員長 (常任理事) 森 博明 (三和電気土木工事㈱)
 理事 伊藤 禎宏 (小松電気工業㈱)
 理事 草富 保博 (㈱HEXEL Works 大阪支店)
 理事 大西 毅 (㈱中電工 大阪本部)
 理事 三好 泰弘 (㈱九電工 関西支店)
 専門委員 西尾 徹 (㈱きんでん)
 専門委員 溝手 貴光 (八千代電設工業㈱)
 専門委員 藤田 雅之 (三宝電機㈱)
 専門委員 請川 裕則 (㈱ミライト・ワン)
 専門委員 今西 寛充 (日本ファシリオ㈱ 大阪本店)

専門委員 佐伯由加志 (三機工業㈱ 関西支社)
 専門委員 小西 修一 (中央電設㈱)
 専門委員 杉本 良太 (栗原工業㈱)
 専門委員 居安 正智 (住友電設㈱)
 専門委員 二井屋田浩 (ダイダン㈱ 大阪本社)
 専門委員 渡辺 洋一 (三和電気土木工事㈱)
 専門委員 田畑 一郎 (㈱クリハラント)
 専門委員 矢野 義和 (野里電気工業㈱)
 専門委員 佐藤 尚侍 (浅海電気㈱)

資材部会

部会長 (常任理事) 嶋田 雅景 (㈱クリハラント)
 部員 伊藤 高生 (ダイダン㈱ 大阪本社)
 部員 浅田 雅之 (栗原工業㈱)

部員 岡田 靖彦 (㈱きんでん)
 部員 釜本 篤也 (住友電設㈱)
 部員 柳沢 真孝 (浅海電気㈱)

労務・安全委員会

委員長 (常任理事) 嶋田 雅景 (㈱クリハラント)
 理事 濱田 厚男 (浜田電気工業㈱)
 理事 岩本 浩一 (㈱キンコー)
 理事 加藤憲二郎 (㈱トーエネック 大阪本部)
 理事 岡田 康彦 (中央電設㈱)
 理事 田中 幸治 (エクシオグループ㈱ 関西支店)
 専門委員 西谷 昌悟 (㈱クリハラント)

専門委員 浅香 誠 (八千代電設工業㈱)
 専門委員 西 孝治 (中央電設㈱)
 専門委員 佃 浩司 (住友電設㈱)
 専門委員 國谷 謙次 (㈱きんでん)
 専門委員 古川 雄介 (㈱キンコー)
 専門委員 沼田 正寛 (旭日電気工業㈱ 大阪支店)

人材部会

部会長 (理事) 岩本 浩一 (㈱キンコー)
 部員 由井 秀洋 (栗原工業㈱)
 部員 花市 竜章 (三栄電気工業㈱)
 部員 高松 光示 (中央電設㈱)

部員 乾 克彦 (三和電気土木工事㈱)
 部員 仙崎 哲也 (近畿設備㈱)
 部員 原 宗一郎 (㈱クリハラント)
 部員 中尾 剛 (住友電設㈱)
 部員 池田英一郎 (三宝電機㈱)

広報委員会

委員長 (常任理事) 早坂 稔 (浅海電気㈱)
 理事 一瓢 秀次 (三栄電気工業㈱)
 理事 井下 智仁 (㈱関電工 関西支店)
 理事 植谷 信之 (日本ファシリオ㈱ 大阪本店)
 理事 松井 克彦 (日本電設工業㈱ 大阪支店)
 理事 林 拓司 (ダイダン㈱ 大阪本社)
 専門委員 内橋 史和 (ダイダン㈱ 大阪本社)

専門委員 田中 晋策 (三栄電気工業㈱)
 専門委員 丸谷 良美 (マルヤ電気㈱)
 専門委員 田中健太郎 (㈱きんでん)
 専門委員 熊迫 仁士 (住友電設㈱)
 専門委員 小林 健一 (三宝電機㈱)
 専門委員 奥村 武央 (浅海電気㈱)
 専門委員 平尾 彰宏 (日本ファシリオ㈱ 大阪本店)

監事

板東 秀明 (宮崎綜合法律事務所)
 安藤 一彦 (藤井電気工事㈱)
 嘉納 秀憲 (三宝電機㈱)

委員会・部会活動
 よろしくお願いします



報告

業界の魅力を高める活動をさらに推進!



1月16日(火)17時30分から、帝国ホテル大阪(大阪市北区天満橋)「孔雀の間」において、日本電設工業協会関西支部と大阪電業協会との共催による新春賀詞交歓会を開催しました。当日は、行政や関係団体等のご来賓と会員を合わせて400名近くの参加をいただき、電設業界の発展を祈念しました。

■日 時 2024年1月16日(火) 17:30~19:00
 ■場 所 帝国ホテル大阪 3階「孔雀の間」
 ■参加者 約400名



司会の藤井専門委員

賀詞交歓会は、大阪電業協会 総務委員会 藤井 勇人専門委員の司会によりスタートしました。上坂隆勇日本電設工業協会関西支部長・大阪電業協会会長は、挨拶の冒頭、元日に発生した能登半島地震犠牲者へのご冥福、ならびに全ての被災者へのお見舞いを申し上げました。

その後、4月から始まる「時間外労働上限規制」について、業界をあげた活動を展開していることに触れ、業界の魅力を高め、若手入職者の増加・定着につながる活動をさらに推進していくとの決意を述べました。

続いて、ご来賓を代表して、国土交通省 近畿地方整備局 宮郷部長 中山 義章様と経済産業省 中部近畿産業保安監督部 近畿支部長 斎藤 秀幸様からご祝辞を頂戴した後、大阪電業協会 坂崎 全男副会長の発声により献杯を行い、歓談に移りました。

今回、4年振りに制限を設けない開催としましたところ、多くのご来賓・会員の参加をいただくことができました。19時に、大阪電業協会 横井 正温副会長が中締め挨拶を行い、盛会のうちに終了しました。



坂崎副会長 献杯



横井副会長 閉会の辞

挨拶

(全文)

(一社)日本電設工業協会 上坂関西支部長
(一社)大阪電業協会 上坂会長

会員の皆様におかれましては、ご家族とともに、健やかな新年を迎えられたことと思います。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

誠に残念なことです、この度の能登半島地震においては、多くの方々が被災され、避難を余儀なくされています。

改めて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げたいと思います。

それでは、2024年賀詞交歓会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

日頃は、本会事業活動へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本日は公務ご多忙の中、国土交通省 近畿地方整備局 営繕部 様、経済産業省 中部近畿産業保安監督部 近畿支部 様、大阪府 都市整備部 住宅建築局 様をはじめ、関係官公庁、関係団体から多数の来賓のご臨席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、3年あまり続いたコロナ禍からの社会経済活動の正常化が一段と進み、個人消費や民間企業の設備投資に持ち直しの動きが見られました。日本経

済は企業収益の改善、また円安効果もあり、株価も高水準で推移しています。

そのようななか、インフラを支え、電力安定供給の一翼を担う私たち電気設備工事業界といたしましては、カーボンニュートラル社会の実現に向けたGXやデジタル社会の実現に向けたDXなど、今後予想される様々な変化に対応し、しっかりとその役割を果たしていかなければなりません。

また、本年は大阪・関西万博に向けた施工がいよいよ本格化する年でもあります。

さらに、本年4月に適用される「時間外労働上限規制への対応」という課題については、これまで、電設業界をあげて、長時間労働を是正するため労働環境の改善や生産性の向上など働き方改革を推進する様々な取り組みを行って参りました。

現在、私たちは、工事の受注に際して、会員企業から発注者様などに対して「4週8閉所の実現」「適正工期の順守」「仕様の早期決定」などの申入れ活動を行っています。

今後、働き方改革が全ての工事関係者のご理解とご協力のもとに実現するよう、引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。

そして、これらの取り組みは、業界の魅力を高めるとともに、将来を担う若手入職者の定着に繋がる活動であり、引き続き、関係各所のご協力を得ながら、積極的な活動を推進していきたいと思ひます。

最後になりますが、日本電設工業協会関西支部並びに大阪電業協会の会員各社のご隆盛、本日ご出席の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

祝辞

(全文)

国土交通省近畿地方整備局
中山営繕部長 様

新年、明けましておめでとうございます。

一般社団法人 日本電設工業協会関西支部、一般社団法人大阪電業協会のご主催により「2024年 新春賀詞交歓会」がかくも盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

貴協会会員の皆様におかれましては、日頃より国

土交通行政の推進と官庁営繕事業の執行に、格別のご理解とご協力をいただき、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

まずは、新年早々に発生しました能登半島地震で、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

近畿地方整備局営繕部では、9日から応急危険度判定の支援で石川県に人員を派遣しております。被災地の復旧、復興に全力で取り組んで参ります。

今回の地震で改めて、官庁施設の防災対策の重要性を痛感しております。近畿地方整備局としみしても、防災拠点の整備、既存官庁施設の耐震対策と建築設備機能の強化、津波対策、災害応急対策活動に必要な電力確保対策等につきまして、重点的かつ集中的に取組を推進して参ります。

また、国土交通省では、温室効果ガスの排出削減計画の

目標を、2030年までに50%削減することとしております。その達成に向けて新築建築物について「ZEB Ready相当」となることを目指しているところです。そのためには、高効率な設備システムの採用、太陽光・地中熱等の自然エネルギーの利用などを図ることが重要となります。

建築設備分野で先導的な役割を担い、各種ノウハウを培われてきた皆様方の技術力に大いに期待するとともに、その果たすべき役割もますます大きくなっていくものと考えております。

また「2025年大阪・関西万博」の開催に向け、現在、会場建設工事が本格化しております。近畿地方整備局営繕部では「大阪・関西万博日本館」の整備を担当しており、万博の成功に向け、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。皆様方のお力添えが不可欠でありますので、ご協力についてお願いいたします。

建設業界では、建設資機材の高騰や納期の遅延、人材不足や高齢化などの様々な課題を抱えるなか、本年4月から時間外労働の上限規制の適用が開始されます。近畿地方整備局営繕部においても「生産性向上」や「働き方改革」を一層すすめ、やりがいと達成感のある「建設業界」となるよう努めていきたいと考えております。

貴協会におかれましては、かねてより電気設備工事業における技術水準の向上、若手の育成や安全衛生への取組等によりまして、良質な社会資本の整備と地域社会の発展に寄与されておられます。これまでのご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をご期待申し上げます。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

祝辞

経済産業省中部近畿産業保安監督部
斎藤近畿支部長 様

(全文)



ただいま御紹介いただきました、経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部、支部長の斎藤でございます。本年もよろしくお願いいたします。

まずは、本年1月1日に発生した令和6年能登半島沖地震において亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

併せて、元日から本震災の対応に当たられた皆様のご尽力に心からの御礼を申し上げます。

被災地では電力設備に大きな被害があり、未だ8,000戸を超える停電が発生しております。そういった中、関西電力様、関西電力送配電様、きんでん様、関電エンジニアリング様ほかから発電機車や高所作業車等の車両がこれまで累計で約90台、工事等の要員、これは派遣された方、派遣中の方、これから派遣される方含め、のべ約400名が復旧活動に従事されており、誠に感謝に堪えません。

経済産業省といたしましても、人命第一の原則のもと、電力、石油、ガスのエネルギーインフラの復旧、ストーブ等の暖房器具や灯油など経済産業省が所管する物資について「プッシュ型支援」を実施しており、コンビニ等からの支援物資の供給強化、被災中小企業・小規模事業者の資金繰り支援について緊張感をもって取り組んでいるところです。

昨年8月に発生した台風7号が近畿地方に上陸した際、当支部では早々に災害対策本部を立ち上げ、情報収集等の初期対応に備えました。今回の令和6年能登半島沖地

震では近畿支部管内では大きな災害は発生しておらず、支部としても災害対策本部立ち上げには至りませんでした。が、今次震災を教訓に、当支部としても改めて大規模自然災害対応に真剣に取り組んでまいります。

さて、関西では2025年に大阪・関西万博が開催されます。

このような大規模イベントの開催を支えるのも安心・安全なエネルギーインフラがあってこそ、であり、電気の保安を担う方々の御活躍が期待されます。

こうした状況の一方で、電気保安・工事を担う人材の確保が年々厳しくなっており、両協会の皆様におかれましても、技能競技大会や、学生を対象とした業界研究セミナーなどの人材の確保・育成の取組みを進め、JECA FAIRに象徴される新技術への取組み等により、安全・安心な電気設備の工事における技術向上を図っていただいております。大阪府を初めとする近畿地域の経済発展に繋がってゆくことを期待しております。

私どもといたしましても、人材確保の観点から、近年の技術進歩を踏まえて、第一種電気工事士の実務経験の緩和や免状のカード化、コンピュータ上で電気工事士の筆記試験を行うC B Tの運用等に取り組んでまいりました。

こうした取組みが、少しでも電気工事業における利便性の向上に繋がれば幸いです。

また、今後も時宜に適った施策の見直しを図るとともに、皆様方からの電気工事2法等関係法令に基づく手続への相談のほか、法令改正情報、事故情報の提供など各種施策を通じて電気事故を軽減し、皆様とともに安全・安心を基盤とした地域全体の発展に貢献できるよう取り組んでまいります。引き続き、御協力の程、よろしくお願いいたします。

結びといたしまして、貴協会にとりまして、新年が益々の御発展の年になりますこと、ならびに本日御出席の皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。皆さん、本年もどうぞご安全に。



賀詞交歓会 会場全景

永年にわたる業界への貢献に感謝を込めて



1月16日（火）17時から、帝国ホテル大阪（大阪市北区天満橋）「八重の間」において、4年振りとなる永年勤続者表彰式が開催されました。今年度は108名が表彰を受けることになり、当日は協会役員が見守る中、受表彰者60名が出席されました。

表彰式は、総務委員会 川部 真太郎専門委員の司会により開会され、冒頭、上坂 隆勇会長から受表彰者に対して、永年の功労への感謝の言葉がありました。

続いて、川部専門委員から表彰式出席者全員の紹介があり、受表彰者代表の藤井電気工事株式会社 藤井 和尋さんに対して、上坂会長から表彰状と記念品が授与されました。



司会の川部専門委員

表彰式に出席された受表彰者の殆どの方は、引き続き開催された賀詞交歓会に出席され、お互いの喜びを分かち合い、更に社業貢献への決意を新たにされたようでした。

本表彰は、長きにわたり社業に尽力され、業界の発展に大きく寄与された社員様の労苦に報い、モチ

■日 時	2024年1月16日(火) 17:00～17:25
■場 所	帝国ホテル大阪 5階「八重の間」
■受表彰者	22社 108名



上坂会長 謝辞

ベーションアップにつながるまたとない機会となるうかと思いを。

今後とも、表彰対象の方につきましては、漏れなく申請をお願いします。

（毎年9月初旬頃、メールマガジンによる申請案内を行っています。）

《表彰要件》

- 1 本会会員歴3年以上の会社の従業員で、表彰年度の12月31日までの3年間に、勤続25年に達した方
- 2 本会会員企業の大阪府下事業所に、通算15年以上在籍している方
- 3 表彰年度の1月1日現在、当協会会員企業の大阪府下事業所に在籍勤務予定の方
- 4 本会や他府県電業協会で、永年勤続表彰を受けていない方



代表受彰 藤井電気工事株式会社 藤井 和尋さん

永年勤続者表彰 受賞者名簿(敬称略)

会 社 名(五十音順)	氏 名				
浅 海 電 気 (株)	松下 弘	佃 充弘	廣田和也	橋本雄司	田中一志
大 阪 電 気 機 工 (株)	尾崎和博				
(株) き ん で ん	横柿守泰	亘 英利	沼 克哉	澤井利彦	田原達也
	藤本朋実	安國 悠	黒田吉彦	和田聡敏	宮崎 彰
	中井徳和	山下一磨	財前 徹	榎原 太	吉岡尚仁
	田中芳宜	宇田川洋毅	植村圭吾	稲垣麻都美	安喜祐二
	清水真奈美	清水雄三	馬場慎一	森脇英則	西田政義
	林 伸幸	大和元樹	有馬卓哉	正力 亮	石川強志
	小林宏紀	由井栄太郎	長谷川光宣	浅野正博	中丸純一
	渋谷陽一郎	塩島輝昭	野々瀬茂	水門明夫	鬼塚啓太
(株) ク リ ハ ラ ン ト	川路幸保	工藤 剛	堀口稔晴	森田祥央	広岡良昌
栗 原 工 業 (株)	若月孝文				
	大久保武	坂上直彦	玉井康大	川久保忠佳	石田貴久
	坂口 亘	小島 潔	山地康弘	平瀬浩之	
三 機 工 業 (株) 関 西 支 社	福山領二				
三 宝 電 機 (株)	霜浦正継	森田晃敏	米田 豊	岩倉博美	浜崎有美
昭 和 電 業 (株)	高澤伸彦				
住 友 電 設 (株)	野間光代	田原昇栄	足立 涉	上田吉秀	森本太郎
	畠 淳	榎本康宏	桶谷浩人	柴田和順	齋藤朗子
ダ イ ダ ン (株) 大 阪 本 社	辻健太郎				
大 栄 電 気 (株) 大 阪 支 店	野田和史				
中 央 電 設 (株)	西脇 健	沖 充章	松井剛志		
ト ー ヨ ー 電 気 工 事 (株)	芦田正徳	大城春樹	黒見直人	浜田浩一	森田仁志
	湯本明憲	中島信人			
東光電気工事(株)関西支社	林 正則				
日本ファシリオ(株)大阪本店	牧野浩二	松尾剛一	南出典彦		
野 里 電 気 工 業 (株)	伊藤 学	笹井剛司	大谷栄二		
(株) 橋 詰 電 気 工 業 所	長 貴史	柳田慶二郎			
(株) 阪 電 工	白岩欣也				
藤 井 電 気 工 事 (株)	藤井和尋	有田幸浩			
(株)HEXEL Works大阪支店	加藤壮太	細田雄一			
マ ル ヤ 電 気 (株)	上柳田敦	丸谷幸一			
八 千 代 電 設 工 業 (株)	小川由幸	加藤将基			

祝

栄えある受賞、おめでとうございます！

本会から、建設事業の第一線で業務に精励し、常に技術・技能の向上に努め、他の模範となる優秀な施工者として、2名の方を大阪府に推薦していましたが、今般、おふたり揃って知事表彰受賞が決定いたしました。



楠本氏 代表謝辞

2月7日(水)、大阪府庁本館5階「正庁の間」において、令和5年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰式典が開催されました。今年度は、本会が「大阪府知事表彰実行委員会」の委員長団体であるため、式典は、告野 満彦総務委員長の開会挨拶で始まりました。

表彰式では、表彰者一人ひとりに対して、大阪府 森岡 武一副知事から直接表彰状が手渡されました。その後、洸陽電気工事株式会社の楠本 昌三氏が受賞者を代表し、謝辞を述べられました。



告野委員長 開会挨拶

熟練工部門

会社名 洸陽電気工事株式会社 (共栄電業株式会社 協力会社)

氏名 楠本 昌三 氏

功 績

長きにわたり交通信号設備の新設・改良工事に携わり、豊富な経験と現場で培った熟練の技能を有しており、会社を代表する技能者として活躍している。

また、若年技能者には自身の経験や知識を、各々のレベルに合せ、細分化して伝授するなど、後進への指導に尽力している。



青年部門

会社名 トーヨー電気工事株式会社

氏名 田上 洸矢 氏

功 績

屋内配線電気工事の技能が優秀であり、登録電気工事基幹技能者の認定を取得するなど、高いレベルの技術・技能を習得し、現場施工の第一線で活躍している。

また、安全衛生に常に配慮し、職長としての技術力、統率力に優れ、他の技能者の模範となっている。



この度の受賞、誠におめでとうございます。
平素からのたゆまぬご努力に、
深く敬意を表しますとともに、
電気設備工事業界を牽引していただく人材として、
今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。



働き方改革の推進に向けた申入れ活動を展開

ここでは、日本電設工業協会 関西支部における働き方改革の推進申入れ活動をご紹介します。

関西支部管下電業協会における申入れ活動の実施

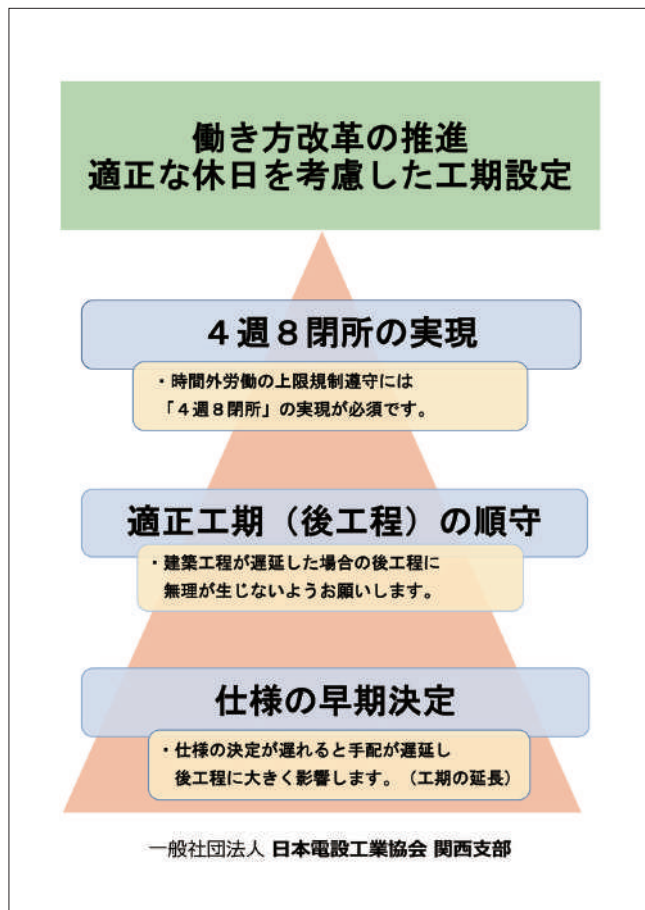
日本電設工業協会では「働き方改革」が全ての工事関係者の理解と協力のもと実現するよう、工事の受注に際して、発注者等への申入れを行っています。

これを受け関西支部では、会員企業が、施主（発注者）のみならず、設計会社、建設会社（ゼネコン）等への申入れ活動を行う際の指針と説明用チラシを作成しました。

申入れ活動の開始時期 2023年10月～

申入れ時の説明資料

- ・「働き方改革の推進申入れ」について
- ・「働き方改革の推進申入れ」活動の指針
- ・「働き方改革の推進 適正な休日を考慮した工期設定」（チラシ）
- ・「働き方改革の推進」における協力をお願い（ポスター）



働き方改革の推進チラシ



（左から）北岡支部長、上坂支部長、北村支部長

日本建設業連合会 関西支部への申入れ

日 時 2024年2月6日（火）10:00～10:35

場 所 大阪建設会館3階 会議室
（大阪市中央区北浜東1-30）

出席者 （一社）日本建設業連合会 関西支部

北岡支部長
川谷副支部長
加賀田副支部長
山田副支部長
日野事務局長

（一社）日本電設工業協会 関西支部（以下、電設協）

上坂支部長
坂崎副会長（（一社）大阪電業協会）
横井副会長（（一社）大阪電業協会）
土井事務局長

（一社）日本空調衛生工事業協会 近畿支部
（以下、日空衛）

北村支部長
林事務局長

冒頭、上坂支部長から「働き方改革関連法」の順守に向けたお願い（電設協、日空衛 両支部長名）により、4週8閉所の実現、適正工期の確保、仕様の早期決定について申入れを行い、続いて北村支部長から、工程遅延が生じた場合の工期延長を含む契約内容の見直し等について依頼しました。

その後、両協会の資料説明を経て意見交換に入り、以下を共通認識として確認しました。

意見交換（概要）

- ・設備工事の工程は、全体工程の最終盤に繁忙期を迎える。そのため、建築工程に遅れが生じた場合、設備工事会社に工期のしわ寄せが発生し、大きな負荷がかかる。できるだけ早い段階で、発注者、受注者間の協議ができるような取り組みをお願いする。
- ・現状、クリティカルパスにおいて、設備工事については、全体工期のみが表記されている。今後、工程毎の工期を把握するためには、検討すべき点もある。

発注者側の理解を求める活動を継続

日本電設工業協会関西支部ならびに大阪電業協会では、毎年定期的に国土交通省近畿地方整備局宮繕部を始めとする公共工事発注機関との意見交換を開催しています。

意見交換では、日本電設工業協会の年度方針を踏まえ、電気設備工事業界が目指す方向性や取組みについて説明しています。

また、事前に会員企業から提起された直面する諸問題について意見交換を行い、発注者側のご理解を深めてい

ただくとともに、諸施策への反映を依頼しています。

日本電設工業協会では、10月に会員大会を開催し、大会決議として「令和6年4月に迫った『時間外労働の上限規制適用』への的確な取組みを！」とのスローガンを採択しました。

これを受け、関西支部ならびに管下電業協会では、発注者等の関係先に対する「働き方改革推進の申入れ」を行う際の「指針」等を作成し、活動を開始しています。意見交換の場でも申入れを行いました。

大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課との意見交換

■日時 11月27日(月) 13:50 ~ 15:30
 ■場所 大阪電業協会会議室
 (大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル5階)
 ■出席者 大阪府 都市整備部 住宅建築局 公共建築室
 設備課 (4名)
 設備課長 岸本 博之 様
 設備課 設備計画グループ 参事 松尾 博司 様
 設備課 設備計画グループ 参事 今井 勲 様
 設備課 一般設備グループ 課長補佐 矢倉 政雄 様
 (一社) 大阪電業協会 (10名)
 常任理事 佐藤 守良 (経営委員長)

■出席者 理事 笠島 浩一
 (つづき) 理事 西尾 崇
 専門委員 福田 広和
 専門委員 平田 勝久
 専門委員 廣畑 善光
 専門委員 渡部 憲一
 専門委員 吉年 竜太郎
 専務理事 土井 俊明
 事務局長 辰井 裕二
 ■テーマ 「働き方改革」「大阪府案件の発注状況」
 「設備課発注案件の応札状況」
 「建設現場のDX」等に関する意見交換

国土交通省近畿地方整備局宮繕部との意見交換

■日時 12月5日(火) 13:25 ~ 15:25
 ■場所 国民會館12階 武藤記念ホール
 (大阪市中央区大手前2-1-2)
 ■出席者 近畿地方整備局 (5名)
 宮繕部 宮繕品質管理官 平田 幸夫 様
 // 設備技術対策官 森田 良次 様
 // 技術・評価課長 池田 達也 様
 // 整備課長補佐 藤井 学 様
 京都宮繕事務所長 橋本 幸治 様
 (一社) 日本電設工業協会関西支部 (17名)
 (一社) 大阪電業協会
 常任理事 佐藤 守良 (経営委員長)
 理事 尾倉 修
 理事 瀧 宏之
 専門委員 小寺 正教
 専門委員 屋渡 健
 専務理事 土井 俊明
 事務局長 辰井 裕二
 (一社) 京都電業協会
 会長 進藤 久和
 理事 高田 政孝
 (一社) 滋賀県電業協会
 会長 中嶋 良典
 (一社) 奈良電業協会
 会長 藤原 隆夫
 副会長 和田 修志
 副会長 奥村 雅英

■出席者 (一社) 兵庫県電業協会
 (つづき) 会長 小坂 哲二
 副会長 塚本 栄
 (一社) 和歌山電業協会
 会長 吉川 幸夫
 (一社) 福井県電業協会
 会長 伊藤 仁一郎
 ■テーマ 「働き方改革」「電工の設計労務単価」
 「資材価格の高騰、物価スライド制度」
 「BIMへの取組み」等に関する意見交換



西日本高速道路株式会社との意見交換

■日 時 12月18日(月) 14:25~16:15
 ■場 所 ホテルグランヴィア大阪 20階「鶴寿の間」
 (大阪市北区梅田3-1-1)
 ■出席者 西日本高速道路株式会社(9名)
 技術本部 施設部 松浦部長
 本社 吉本調査役
 技術本部 施設部 施設技術課
 高橋課長
 保全サービス事業本部 保全サービス事業部
 施設保全課 宮本課長
 建設事業本部 建設事業部 施設建設課
 佐川課長代理
 関西支社 小林施設担当部長
 中国支社 保全サービス事業部
 神田施設担当部長
 四国支社 保全サービス事業部
 井上施設担当部長
 九州支社 保全サービス事業部
 横山施設担当部長

■出席者 (一社)日本電設工業協会(13名)
 (つづき) 関西支部 事務局長 土井 俊明
 (一社)大阪電業協会
 常任理事 佐藤 守良(経営委員長)
 理 事 尾倉 修
 理 事 西尾 崇
 専門委員 福田 広和
 専門委員 河本 健
 専門委員 屋渡 健
 事務局長 辰井 裕二
 中国支部
 (一社)広島電業協会
 委 員 松重 光昭
 四国支部 事務局長 大井 秀晃
 (株)四電工 営業本部 営業部長
 尾崎 和之
 九州支部 事務局長 藤井也寸志
 (一社)福岡電業協会
 事業部会長 竹井 賢一

■テーマ 「働き方改革」
 「資材価格・設備機器の価格、納期、積算」
 「入札情報の開示」「地域毎の近況」等に関する意見交換



働き方改革の推進について

令和6年4月より、建設業にも時間外労働の規制強化が適用されます。

これまで、建設業については、36協定で定める時間外労働の上限の基準(大臣告示)は、適用除外とされていましたが、令和6年4月1日以降、時間外労働の上限は原則として月45時間・年360時間となり、災害復旧等の特別の事情がなければこれを超えることができなくなります。

※違反には刑事罰適用の恐れあり(6ヵ月以下の懲役又は30万円以下の罰金)

～目指せ♪4週8閉所～

閉所は計画的に!!

4週8閉所!!



月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	休	休
8	9	10	11	12	休	休
15	16	休	休	19	20	21
22	23	24	25	26	休	休

後工程へのご配慮をお願いします

電気設備は最終ランナー!!

適正工期の確保

仕様の早期決定

視点を変えれば未来が変わる

9月21日（木）、ハートンホール日本生命御堂筋ビル（大阪市中央区南船場）において、会員企業女性社員向け「女性活躍推進研修」を開催しました。この研修は、コロナ禍により開催を延期していましたが、ようやく実現の運びとなりました。

平日の多忙な時間帯にも関わらず、17社36名の皆様にご参加いただきました。また、福祉活動の一環として続けております募金活動では、5,429円の真心を集めさせていただきました。

講師にはALive代表 川北 麻紀様をお招きし、二部構成で研修を開催しました。

第一部では「現状を振り返り前向きな一歩を踏み出そう」「人間関係構築力を高めよう」というテーマで、チェックシートを用いての自己分析を行いました。

参加者各々が、現状の業務や人間関係の悩みなどをシートにアウトプットしディスカッションすることで、悩み解決の糸口を見つける時間としていただきました。

第二部では、一部での内容を踏まえた30分間の意見交換を行っていただきました。先に実施したグループディスカッションの効果もあり、アンケートで「意見交換の時間がもっとほしかった」という声上がるほど、かなりの盛り上がりを見せていました。



講師 川北 麻紀 様

- 日 時 9月21日(木) 14:00～17:00
- 場 所 ハートンホール 日本生命御堂筋ビル12階
- 参加者 17社 36名
- 講 師 ALive代表 川北 麻紀 様
- テーマ 「現状を振り返り前向きな一歩を踏み出そう」
「人間関係構築力を高めよう」



吉年部会長 開会挨拶

講師の川北様には、二部の意見交換でも各テーブルを回っていただき、参加者からの質疑にご対応いただきました。この場をお借りして心から御礼申し上げます。

研修終了後、参加者に記入いただいたアンケートでは「同じような立場の方と話せて悩みなども相談でき、有意義な時間だった」「同じ業界で働く同年代の方とお話ができてよかった」「モチベーションが上がった」など、前向きになれたというご意見を多数いただくことができました。

アンケート回答によりいただいた貴重なご意見を活かし、会員企業社員の皆様にとって、よりよい研修を企画したいと考えています。今後とも、ご参加・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(吉富 記)



グループに分かれて意見交換

子供たちとの楽しい時間を過ごしました

10月21日（土）、デイキャンプ活動を実施しました。青年部会の看板行事となっているこのボランティア活動も、今年度で29回目の開催になります。今回は、北摂ブロックの学園7校50名の児童と12名の引率の先生方をお招きし、会員13社47名、運営委員23名を含め、総勢132名の参加となりました。

午前中は大阪府羽衣青少年センターでカレー作り、午後からは近隣の大阪府立臨海スポーツセンターでスポーツ大会を行いました。開会式では、来賓の経営委員会 笠島理事からご挨拶をいただきました。

午前中のカレーライス作りでは、各グループに分かれ、児童は会員の皆様に教わりながら調理をしていました。釜戸の火起こしに悪戦苦闘する児童や、薪をくべるのを工夫して効率よく火を起こす児童、また、人参を切ったり、カレーを焦がさないよう一生懸命鍋をかき混ぜる児童がいたり、普段体験できないことに取り組む子供たちの目はキラキラと輝いていました。

会場全体に広がるカレーの良い匂いに食欲をそそられながらも、でき上がるのを楽しみに待ちました。そして、すべての班が時間どおりにカレーライス作りを終え、待ちに待った食事の時間になりました。

やっとの思いで作ったカレーは格別のように、おかわりをする児童も多く見られ、少しも残すことなく、すぐに完食となりました。

午後からは臨海スポーツセンターに移動し、スポーツ大会を行いました。メイン競技の「ピン球リレー」では、7人1組となり、おたまやれんげといったアイテムにピン球を乗せ、バトンをつなぎ、タイムを競いました。ピン球が思うように運べないことに苦戦しながらも、チーム一丸となって取組んでいました。

また「玉入れ」は、制限時間5分以内に持ち球100球をいかに多くカゴに入れるかを競うゲームで、スピードと正確性が重要となり、瞬きを忘れるほど集中している児童もいました。どの競技でも全力で取り組み、そして、仲間を励まし応援する姿は、まさに「One for All, All for One」でした。

閉会式ではスポーツ大会の成績発表、賞品の授与、そして記念品をお渡ししました。発表のたびに歓声を上げて喜ぶ児童、悔しがらる児童、拍手で称える児童と、最後まで大盛り上がりでした。

このボランティア活動は、子どもたちに野外活動の楽し

《日 程》 10月21日（土）
《場 所》 大阪府羽衣青少年センター
大阪府立臨海スポーツセンター
《参加人数》 132名



カレー作り

さと、団体行動の楽しさ・大切さを感じてもらい、自主性・創造性・協調性を育むことを目的とするとともに、青年部会がこの活動を通じて社会に貢献することを目的として毎年開催しております。

年々、本活動に参加していただける会員の方が減少しつつありますので、この場をお借りして、改めてご参加のお願いをさせていただきたいと思ひます。

最後になりましたが、ご協力をいただきました各学園の先生方、大阪府ならびに羽衣青少年センター・臨海スポーツセンター関係職員の皆様方、また経営委員会ならびに会員の皆様方には厚く御礼申し上げます。

（岸田 記）



ピン球リレー



玉入れ

笑顔をありがとう！

11月18日（土）、農業公園信貴山のどか村（奈良県生駒郡）において、レクリエーション活動を開催しました。当日は朝から雨模様と悪天候のため、やむを得ず午前中の味覚狩りを中止としましたが、34社122名（うち子供47名）と、多数の会員ならびにご家族の方々に参加いただきました。

参加者の皆様を受け付けた後、開会式を行いました。吉年部会長が開会挨拶を行い、来賓として出席していただきました経営委員会の河本専門委員から挨拶を頂戴しました。

その後、担当運営委員からスケジュールと注意事項を説明し、昼食を楽しんでいただきました。昼食はお肉やのどか村でとれた野菜でバーベキューをしていただき、昼食後にチャリティーゲーム大会を実施しました。

チャリティーゲーム大会では、豪華景品を入札方式で競り落としていただき、大いに盛り上がりしました。最後に、担当副部会長の挨拶をもちまして閉会となりました。

青年部会運営委員としましては、多数の会員のご家族の

《日 程》 11月18日（土）
《場 所》 農業公園信貴山のどか村
《参加人数》 122名

家族サービスに一役買えたのではないかと喜んでおります。

チャリティーゲーム大会での募金（¥63,598-）につきましては、日本赤十字社への義援金ならびに大阪府下児童養護施設へ寄付に充当させていただきます。募金の協力をいただきました会員皆様のご理解ご協力に深く感謝しております。

今後も青年部会では、会員相互の交流と親睦を図っていただくため、またより多くの皆様にご参加いただき楽しんでいただくために、より良い企画を実施していきたいと考えております。青年部会活動へのご参加を運営委員一同、心よりお待ち申し上げます。（藤田 記）



バーベキュー



チャリティーオークション

日本赤十字社大阪府支部寄付金贈呈

募金活動で20万円を寄付

12月18日（月）、毎年恒例となっております、日本赤十字社への寄付金の贈呈を、日本赤十字社大阪府支部において行いました。

当日は、経営委員会から佐藤委員長、小寺専門委員の立会いをいただき、青年部会 吉年部会長から日本赤十字社大阪府支部 大江事務局長に対して、活動資金として20万円の寄付をさせていただきました。その他、青年部会から4名の副部会長が同席しました。

吉年部会長から「この寄付金は、青年部会が主催する活動、行事などで各所属会社の皆様のご理解、ご協力を得て集まった善意です。今後も活動を継続していきます」とお伝えしました。



懇談会では、大江事務局長から「今年は国内でも自然災害が多く、その都度医療救護活動に当たってきました。こうした活動は皆様の激励により続けられています。活動にご理解いただき、お礼を申し上げます」とのお言葉を頂戴しました。

青年部会では、ボランティア活動の一環として、各行事開催時に参加者の皆様から寄付金を募り、現在までに累計で16,731,901円を、日本赤十字社大阪府支部を通じて、それぞれの関係各所に寄付をして参りました。

青年部会会員の皆様方には、毎年多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに深く御礼申し上げます。今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。（濱田 記）

退職防止あの手この手

中小部会では、2023年9月の会合において、旭電設(株) 橋本社長（中小部会長）から、自社の退職防止策に関する事例紹介を行い、参加企業（社長）から大きな反響がありました。

そこで、大阪電業協会の全ての中小会員企業様にもご覧いただきたいと考え、同社取組みの一端をご紹介します。



旭電設株式会社
橋本社長

旭電設(株)の退職防止策(抜粋)

社内制度の改善

①資格取得のバックアップ

会社認定資格の取得に対して、合格祝金と資格手当（毎月）を支給



②表彰制度

1年間頑張った社員を安全大会等で表彰（金一封あり）



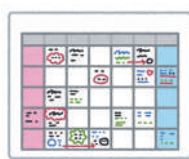
③帰省旅費の支給

独身者には、年2回まで、実家まで帰省する往復の旅費を支給



職場環境の改善(脱アナログ)

①スケジュールの共有



社員全員のスケジュールを見える化

②ドキュメントの共有

社内規程、マニュアル、有資格者一覧等を一元管理。いつでも閲覧可



③ワークフローの電子化

申請関係を電子化し、省力化と承認期間の短縮を実現



④電子回覧

全員に一齐回覧（確認機能付き）。確認が遅れている社員には、仲間から声がけ



コミュニケーションの活性化

①1on1ミーティング

年2回、社長との個人面談を実施し、社員が感じている課題や悩みを把握



②メンター制度

年齢の近い先輩社員が新入社員をサポートし、相談しやすい環境を提供



③若手社員との懇親会

社長と若手社員（30歳未満限定）との懇親会を年4回開催（職場では分からなかった一面を発見!）

新年会
忘年会
歓迎会
若手会
(30歳未満)

慰安旅行(年1回)
行き先は社員の投票で決まります。



若手社員に聞いてみた

旭電設のいいところ

- ◎年間の休日数が多い(122日)
- ◎休暇が取りやすい(有給休暇取得率 64.7%)
- ◎若手社員が活躍できる(平均年齢 39.3歳)
- ◎会社にも社員にも清潔感がある
- ◎社員を大切に扱ってくれる
- ◎上司・先輩が優しい
- ◎慰安旅行が楽しい



旭電設株式会社 橋本社長コメント

「折角、ご縁があって入社してくれた社員には、ストレスなくモチベーションを維持して働き続けてほしい」そんな思いから、若手目線に立った退職防止策の検討と実践を繰り返しています。

中小企業には、良いと判断することは、経営者がスピード感を持ってすぐに決断できる強みがあります。

弊社の取組みが、少しでも中小会員企業様のヒントになりましたら幸いです。

退職防止策の事例について

旭電設株式会社

職種を超えた知識を習得しよう！

電設業界では人材不足が慢性化しており、中小企業においては、限られた人材で業務をいかに効率よく進めるかが課題です。

そこで中小部会では、職種を超えた知識を習得し、多能的な社員を育成することで効率化が図れると考え、積算業務未経験者や初心者を対象とした「積算業務基礎講習」を開催しました。

過去2回の講習経験を活かし「新入社員や営業・事務の方が積算知識ゼロであっても積算に興味を持ってもらえる」「積算業務の重要性を少しでも理解していただく」というコンセプトのブラッシュアップを図りました。

特に今回は、拾い出し演習時の理解度向上を図るため、部会参加企業のご了承をいただき、講師を増員しました。

講習1日目は「積算とは」から始まり、その後「積算と見積」「業務の流れ」「拾い出し」と一つひとつ具体的に丁寧に説明しました。

2日目は、電気工事現場での施工動画（大阪電業協会制作）の視聴からスタートしました。その後、数名単位のグループに分かれ、マンションの一室の図面を用い、拾い出しの実践を行いました。壁の後ろや天井裏に潜む配線やアウトレットボックス、保護管を想像して拾い出さなければならないなど、それぞれの受講者は興味深く実践に取り組んでいました。演習の際には、各グループに講師が

■日 時	1日目 11月13日(月) 9:30~17:00 2日目 11月20日(月) 9:30~17:00
■場 所	大阪電業協会 会議室
■参加者	8社 20名
■講 師	中小部会 副部会長 丸谷 良美（マルヤ電気株） 盛永 正直（株盛永電気工業所） 【拾い出し指導】 吉川 雅也（共栄電業株）、 鬼頭 孝幸（旭電設株）、寺田 憲夫（事務局）

張り付くことで、受講者の疑問にタイムリーに回答していました。

講習後のアンケートでは「長い時間をかけて基礎から学ぶことができ、とても勉強になった」「小グループに分けていただき、質問がしやすくなった」「積算業務が自分のできるように、今回を機に取り組んでいきたい」など多くの前向きなご意見を頂戴しました。

当講習の受講がきっかけとなり、中小電気工事会社の社員として積算の知識を習得していくことで、営業・事務等間接部門であっても積算業務の支援ができるようになり、現場技術者の負担軽減や積算業務の平準化に貢献できるのではないかと思います。

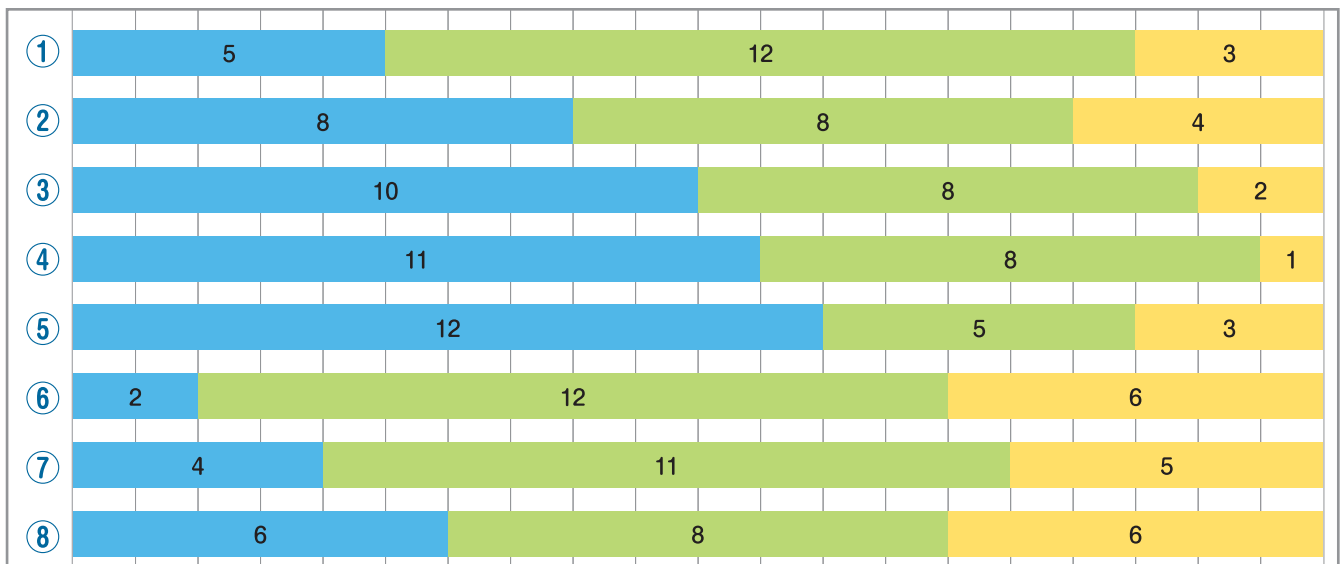
受講者の皆さま、2日間大変お疲れ様でした。今後、会社の持ち場・立場でのご活躍を祈念いたします。

（堀田 記）

積算基礎講習アンケート集計

- ① 講習内容は期待していたものでしたか。
- ② 積算業務の基礎の内容は理解できましたか。
- ③ 拾い出し基礎説明の内容は理解できましたか。
- ④ 拾い出し演習(導入編)の内容は理解できましたか。
- ⑤ 拾い出し演習(実践編)の内容は理解できましたか。
- ⑥ 講習時間(長さ)はどうか。
- ⑦ 講習会場(立地、環境)はどうか。
- ⑧ テキストの分かり易さについてどのように評価されますか。

■ はい/大満足	■ 満足	■ ふつう
■ やや不満	■ 不満/いいえ	



2名の方に受講の感想をお聞きしました



旭電設株式会社

中西 美穂子さん

《職 種》設計
《経験年数》10ヶ月

私がこの講習に参加しようと思ったきっかけは、私の在籍する部署が公共工事の積算業務を行っているからです。少しでも知識を広げたい、スキルを身に付けたいと思い受講しました。

初心者向けの講習だったのでとても分かりやすく、工事の写真や動画も講習内容に合わせるようにして見せてくださったので、とてもイメージしやすかったです。

初日は、積算業務の基礎について、材料・用語・労務費や順序などに加えて、拾い出しの基本・要点など必要な知識をわかりやすく説明していただきました。

2日目は、実際に図面から材料の拾い出し・回路の拾い出しを教えていただき、図面の考え方として、平面だけではなく立体視をすることの大切さを教わる充実した講習内容でした。

今回の受講で感じたことは、業務にかかわらず、多くの方が受講すべきだということです。新入社員や拾い出しの未経験者であっても、受講することによりスタートラインが同じになるため、教える側も一から教えるなくても済みますし、効率的だと思うからです。

また、講師の方は丁寧な説明で、本当に分かりやすく覚えやすい講習でした。

この講習会で学んだことを生かして、今後の積算業務に取り組んでいきたいと思っています。



日興電気工業株式会社

鹿島 基暉さん

《職 種》施工管理
《経験年数》1年

この講習会を受講したきっかけは、積算のことを理解しているとどのくらいのお金がかかるかを頭の中で予想でき、現場での打ち合わせがスムーズにできると思ったからです。

私自身積算の知識は全くのゼロでしたが、この講習はそんな人でも簡単に理解できる基礎的な内容でした。

1日目は、積算の業務の流れ、拾い出しについて、図やレジュメを用いたわかりやすい講義でした。分からない箇所があれば質問を受け付けて、優しく丁寧に教えていただきました。

2日目は、実際にマンションの図面を用いて拾い出しを行う講義でした。班ごとに分かれて、各班に1人先生を配置するという形をとっていて、質問もしやすくより理解が深まったと思います。壁面をイラスト化して立体的なイメージを掴みやすい方法でしたので、簡単に拾い出しができました。三角スケールの使い方や、寸法の測り方も丁寧に教えていただきました。

また1日目の講義の復習もあり、少しわからなかったところも復習できました。この2日間の講義を通して、少しのミスで大きな損失に繋がってしまう積算の難しさ、重要性が理解できました。積算に関わらず、全ての業務に言えることですが、物事を立体的に考えるという大切さも学びました。

今回の講義を踏まえて今後の業務に活用できるように、自分でも本やインターネットを用いて勉強していこうと思いました。

初心者でもわかりやすく解説していただける、かつ実践方式で分かりやすい講義なので、新入社員の方や積算の知識が全くなくても、興味がある方にはお勧めです。



受講風景



拾い出し指導

特集

51回目、新たな歴史が始まる！



入賞者集合写真

最優秀賞

トーヨー電気工事株式会社
角田摂那さん

株式会社関電工 関西支店
菊池勝利さん

野里電気工業株式会社
藤田竜平さん

10月26日(木)、エディオンアリーナ大阪(大阪府立体育会館)第一競技場において、第51回電気工事士技能競技大会を開催し、一般の部29名(23社)、高校生の部12名(6校)の選手が出場しました。

当日は、経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部様、国土交通省近畿地方整備局営繕部様、大阪府様、大阪市様をはじめ、関係諸機関・諸団体から来賓のご臨席をいただき、審査委員ならびに大会役員列席のもと、9時に森運営委員長の開会宣言で開幕しました。

開会式では、上坂会長の挨拶に続き、来賓代表の経済産業省中部近畿産業保安監督部の斎藤近畿支部長からご祝辞を頂戴した後、犬井選手(東光電気工事(株) 関西支社)による選手宣誓が行われました。



斎藤近畿支部長 祝辞



松尾審査委員長 講評

続いて、伏屋審査副委員長から競技説明が行われました。今大会は、物流倉庫をイメージした競技課題とし、金属管とPF管を使った露出配管を多く取り入れ、配管の山越えを組み入れました。

一般の部では、金属管での山越えを取り入れ、ボックス接続部はS曲げとしました。高校生の部では、金属管は使用せずPF管での施工とし、山越え部分はダクターチャンネルを用いて、PF管を交差させる内容としました。

回路は一般・高校生の部とも同じであり、3路スイッチ4路スイッチによるレセプタクル

の点滅を行う回路、自動点滅器とタイムスイッチにより照明器具の点滅を行う回路、15A・20A兼用接地コンセント(250V)の電源回路としました。

9時30分から3時間の競技を開始し、競技が終了した作品から順次審査を行いました。一般の部では、失格者はいませんでした。露出配管を多く取り入れ、若干難易度が増した課題にはなりましたが、点滅回路は例年に比べ一般的なものとなり、全体としては妥当な作業量であったと考えます。出場選手の實力の高さ、大会への鍛錬と努力が反映された結果であったと思います。

高校生の部では、残念ながら時間超過による失格がありました。夏休み前から練習を積み重ね、競技時間内で概ね正確に完成させていました。

また、競技場内に、JECA FAIR 2023製品コンクール入賞製品他の展示コーナーを併設し、競技参加者をはじめ、会場に来られた方々に見学していただきました。一般財団法人関西電気保安協会様には「感電体感コーナー」を設置していただきました。

16時から、中嶋審査副委員長による審査結果発表、松尾審査委員長による大会講評があり、その後、大阪府知事賞、大阪市長賞、大阪電業協会会長賞をはじめ、各賞の表彰が行われました。

最後に、総合司会の草富理事が閉会を宣言し、大会は盛況裡に終了しました。早朝から終日にわたりご対応いただきました審査役員の皆さま、課題作成にご尽力をいただきました関西電力送配電株式会社の皆さまには、誌面をお借りしまして深く御礼申し上げます。(請川 記)



選手宣誓をする犬井選手

(一社)大阪電業協会 上坂会長挨拶

第51回電気工事士技能競技大会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、業務ご多忙のところ、経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部 斎藤支部長様をはじめ、多くのご来賓の皆さまにご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

本大会の開催趣旨は、社会インフラを支える電気設備の品質向上のため、技能競技を通じて電気工事士の技能向上を図ることにあります。

本日は、一般の部では23社から29名、高校生の部では6校から12名の方々に出場していただいておりますが、選手の皆さんには、日頃培われた技量、練習の成果を如何なく発揮して、悔いの残らないよう、怪我のないよう、全力で臨んでいただきたいと思います。

さて、私たち電設業界は「電力安定供給の一翼を担う」という社会的使命がある一方、担い手不足や、来年4月に迫った時間外労働上限規制の適用といった課題にも直面しています。

とりわけ担い手不足の解決には、若い世代が安心して入職し「やりがい、働きがい」を持てる職場環境の整備が第一歩であると考えています。

そのような観点から、本大会では高校生の部を設け、大阪府下の電気科の高校生にも出場いただいております。夏休みを利用して、本会 技術・技能委員会のメンバーや技術者の指導を受けながら、本日のために競技課題に取り組んでいただきました。ご支援いただきました先生方に



上坂会長 開会挨拶

も、改めて感謝申し上げたいと思います。

そして選手の皆さんには、この経験で得た「ものづくりの楽しさ」を大切な宝として、今後に活かしていただければ幸いです。

最後になりますが、大阪府様、大阪市様、関西電力送配電様には、準備段階からのご協力に加え、本日も審査をご担当いただき誠にありがとうございます。改めて御礼を申し上げます。

また、技術・技能委員会の皆さんには、大会開催にあたり、1年以上も前から綿密に準備していただき、大変ありがとうございました。

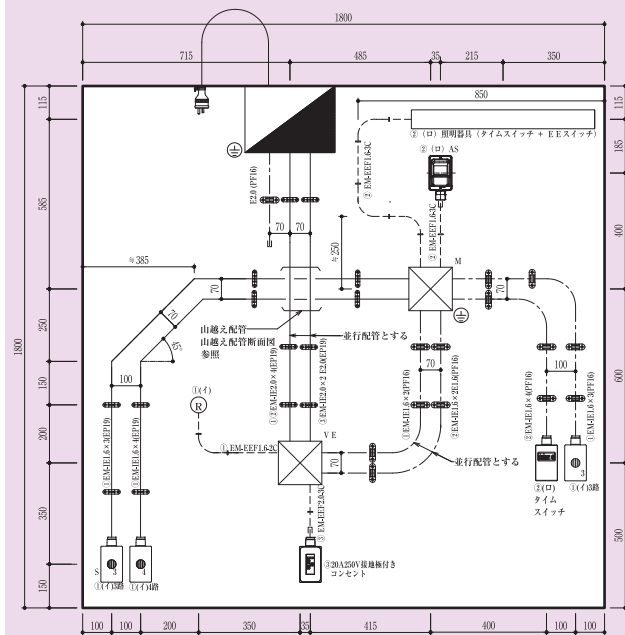
そして何よりも、選手の皆さんの今までのご努力を称え、本日のご健闘を祈念し、第51回電気工事士技能競技大会開催に当たってのご挨拶とさせていただきます。



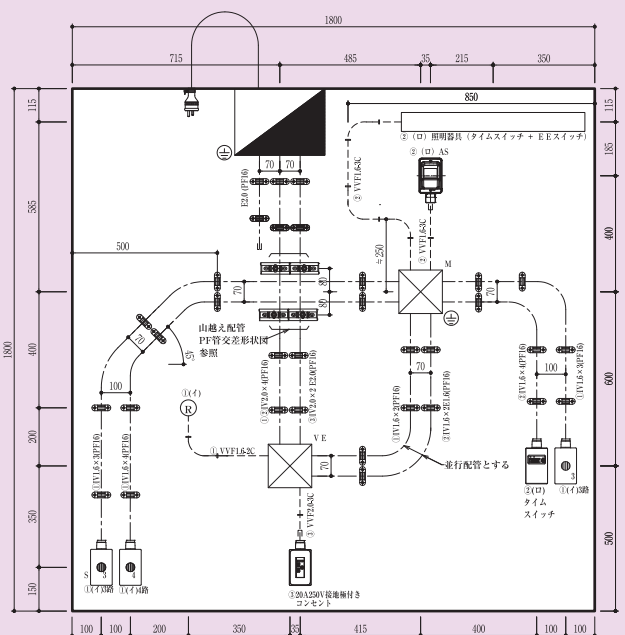
製品展示コーナー

第51回 電気工事士技能競技大会 課題施工図

一般の部



高校生の部



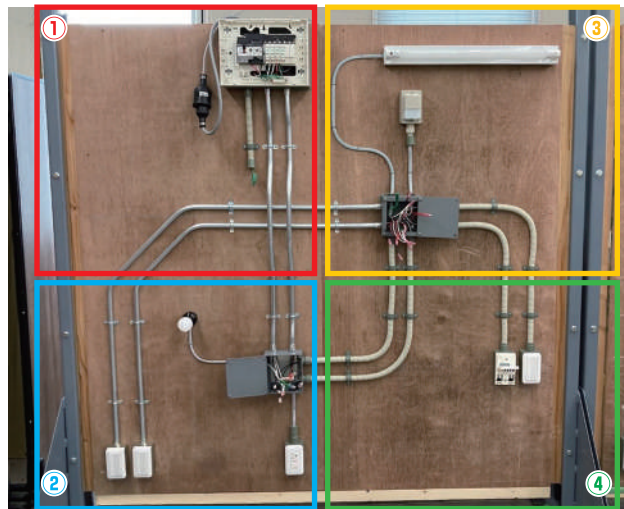
表彰選手名簿(一般)

表彰種別	表彰者	ポードNo.	選手名	会社名
最優秀賞	大阪府知事賞	21	きく 池 勝利	(株) 関 電 工 関 西 支 店
	大阪市長賞	5	ふじ 藤 田 電 平	野 里 電 気 工 業 (株)
	(一社)大阪電業協会 会長賞	6	すみ 角 田 摂 那	ト ー ヨ ー 電 気 工 事 (株)
優 秀 賞	(一社)日本電設工業協会 関西支部長賞	9	わ だ たい き	三 栄 電 気 工 業 (株)
	大阪府電気工事工業組合 理事長賞	1	ふじ 藤 原 まさ ゆき	八 千 代 電 設 工 業 (株)
優 良 賞	(一社)大阪電業協会 会長賞	18	つか もと のり かず	(株) ミ ラ イ ト ・ ワ ン
		17	いぬ 犬 井 乙 と	東 光 電 気 工 事 (株) 関 西 支 社
技 能 賞	(一社)大阪電業協会 会長賞	25	まつ もと たく み	八 千 代 電 設 工 業 (株)
		12	なか 仲 田 あたる 仲	栗 原 工 業 (株)

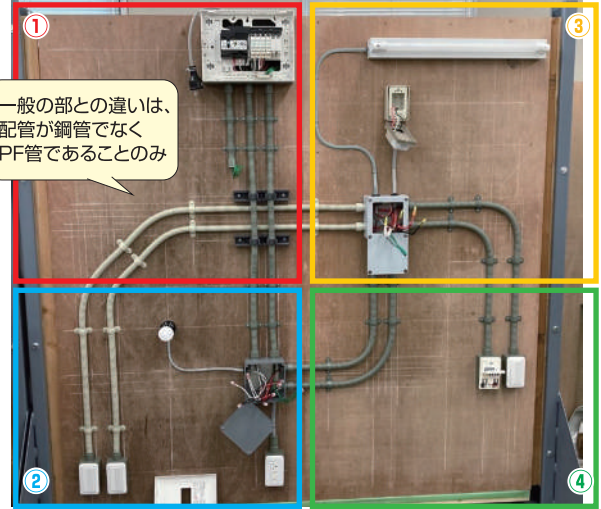
表彰選手名簿(高校生)

表彰種別	表彰者	ポードNo.	選手名	会社名
優 秀 賞	(一社)日本電設工業協会 関西支部長賞	F	こ ぶち はる ひ 小 淵 晴 陽	大阪府立都島第二工業高等学校
			よし か 川 かなめ 吉 川 要	
優 良 賞	(一財)関西電気保安協会 理事長賞	A	よね だ み き と 米 田 海喜翔	大阪府立堺工科高等学校
			かめ こ じ ろ う 亀 康二郎	
技 能 賞	(一社)大阪電業協会 会長賞	D	こん どう はる と 近 藤 陽 翔	大阪府立生野工業高等学校
			はる な が 永 碧 く 春 永 碧 斗	
努 力 賞	(一社)大阪電業協会 会長賞	B	まつ もと ま ひろ 松 本 真 大	大阪府立今宮工科高等学校
			や 矢 の 野 こう ま 真 煌	
		C	やま し た りょう 山 下 量	大阪府立淀川工科高等学校
			や 八 ぎ なり あ 木 斉 昭	
		E	すみ た よし や 住 田 善 哉	大阪府立西野田工科高等学校
			なか が き ゆい と 中 垣 結 翔	

No.	項目（一般の部）
①	分電盤
②	プルボックス・E付コンセント・スイッチレセプタクル
③	プルボックス・照明器具・デイト
④	タイムスイッチ・スイッチ

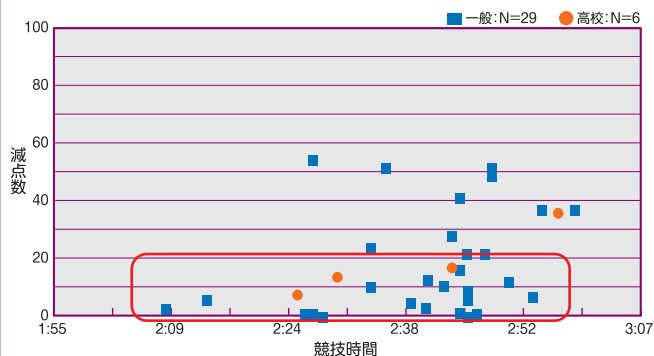


No.	項目（高校生の部）
①	分電盤
②	プルボックス・E付コンセント・スイッチレセプタクル
③	プルボックス・照明器具・デイト
④	タイムスイッチ・スイッチ



競技時間別 減点数、減点数別割合

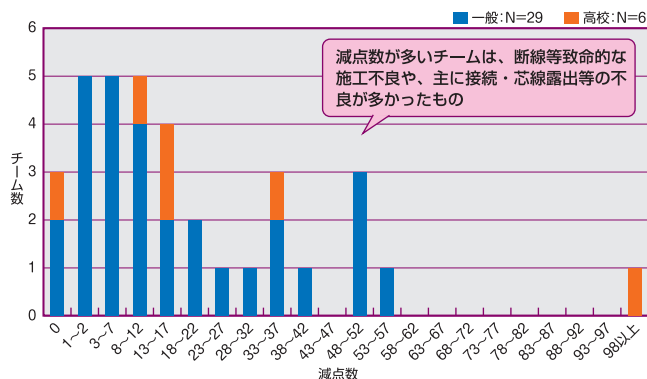
競技時間別 減点数



- 想定競技時間の2時間40分の平均に近い時間に競技終了しているチームが多く、全体的に減点数も少ない傾向が見られる。
（施工品質が向上している）※上表赤枠内
- 昨年度と課題内容（昨年度よりボリューム減）や競技人数（2人⇒1人）が違う為、一概に比較できないものの、第49回大会よりも競技終了時間は速くなっている。※下表参照

	第51回大会	第50回大会	第49回大会
	一般 高校	一般 高校	一般
競技時間平均	2:40 2:48	2:30 2:44	2:46
競技時間最速	2:09 2:25	2:13 1:58	2:29
競技時間最長	2:59 3:30	2:59 2:50	2:46

減点数別割合



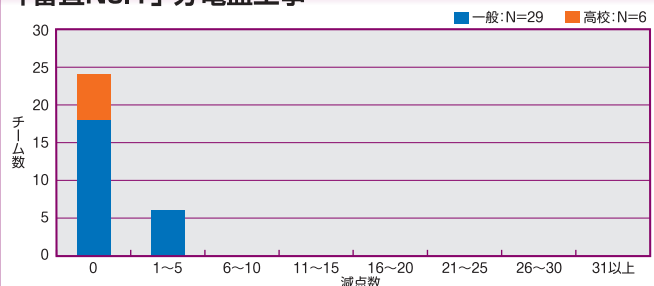
- 合計減点数は、昨年度よりも審査項目が減った影響もあり減少している。第49回大会に近い減点数となっている。※下表参照

失格した1チームは未審査

	第51回大会	第50回大会	第49回大会
	一般 高校	一般 高校	一般
平均値	17.9 45.8	37.0 45.9	10.9
中央値	11.0 15.5	14.0 20.0	8.0

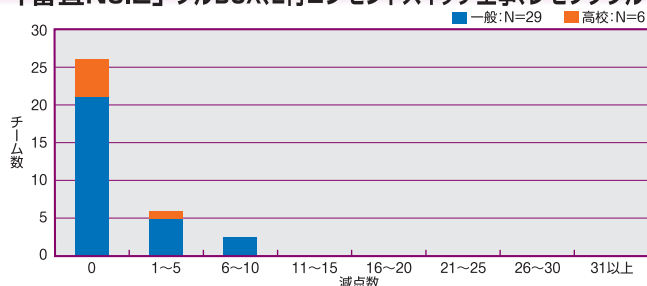
審査項目別 主な減点項目

「審査No.1」分電盤工事



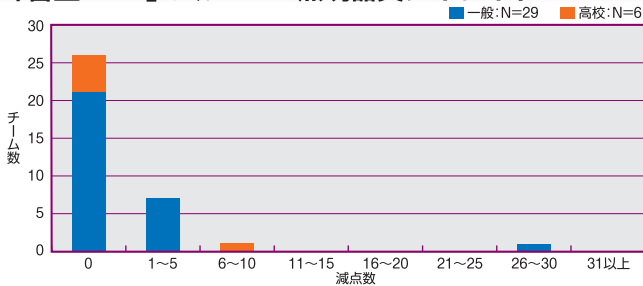
- 主幹ブレーカー：電線被覆の剥き方・寸法不良（一般：9チーム）※接続部から5mm露出（挿入不良）
- アースターミナル：電線被覆の剥き方・寸法不良（一般：2チーム）※接続箇所から芯線露出

「審査No.2」プルBOX、E付コンセントスイッチ工事、レセプタクル



- プルBOX：差し込みコネクタ差込不良（一般：2チーム）、コネクタと管の接続不良（一般：1チーム）
- スイッチ工事（左）：電線被覆の剥き方不良・むき過ぎ（一般：1チーム）
- スイッチ工事（右）：E線に傷（芯線見え）があるもの（一般：1チーム）
- レセプタクル工事：巻きつけ不良（一般：4チーム）（高校：1チーム）

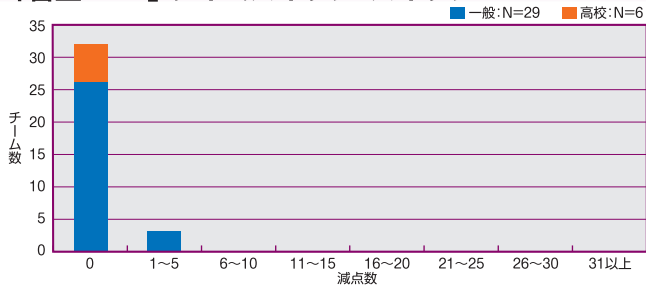
「審査No.3」プルBOX・照明器具デライト



主な減点項目

- プルBOX: 絶縁キャップ取り付け不良(一般: 1チーム)
- 電線被覆の剥ぎ方・寸法不良(一般: 2チーム)
- 電線締め付け不良(アース)(一般: 1チーム)(高校: 1チーム)
- 接続不良(接地線断線)(一般: 1チーム)
- 巻き付け不良(はみ出し)(一般: 1チーム)
- 菊ワッシャ取付順不良(一般: 3チーム)

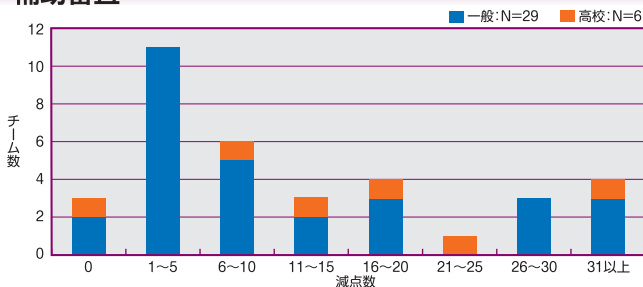
「審査No.4」タイムスイッチ・スイッチ



主な減点項目

- タイムスイッチ: 器具接続、挿入不足(一般: 2チーム)
- スイッチ: 電線被覆の剥ぎ方不良・むき過ぎ(一般: 1チーム)

補助審査

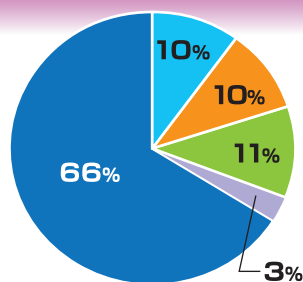


主な減点項目

- 材料減点: (一般: 1チーム、高校: 1チーム)
- ボード減点: G・Q・K減点(一般: 1チーム、高校: 3チーム)
- 検尺判定減点(一般: 2チーム)
- 外観判定減点(一般: 27チーム、高校: 5チーム)

項目別減点数

- 審査No.1 分電盤
- 審査No.2 プルボックス・E付コンセント・スイッチ・レセプタクル
- 審査No.3 プルボックス・照明器具・デライト
- 審査No.4 タイムスイッチ・スイッチ
- 補助審査項目



減点割合の大きい項目

- No.1の分電盤
- No.2のプルボックス・E付コンセント・スイッチ・レセプタクル
- No.3のプルボックス・照明器具・デライト
- ※No.1、2(10%)・3は(11%) 補助審査項目(66%)

不具合箇所写真



出場高校生感想文



大阪府立都島第二工業高等学校

電気科3年 小淵 晴陽
電気科3年 吉川 要

私達は、昨年度も電気工事士技能競技大会に参加し、指導員の方々に丁寧な技術指導をしていただきましたが、大会では納得の行くパフォーマンスを出せずとても悔しい思いをしたので、今年度の大会への参加を決意しました。

そして今回は、前回の知識と技能を糧にし、大会に向けて練習を始めました。夏の講習会では、前回の基礎知識がありスムーズに理解することができましたが、大学進学に向けての勉強や第一種電気工事士筆記試験の講習会参加が重なり、自分達が満足行くまでの練習ができず、本番を迎えることになりました。

大会当日は、結果を出したい気持ちから、とても緊張していました。競技序盤は難なく進めることができ、難所であるPF管の施工も納得の行く出来となりました。

しかし、PF管への入線前に20メートルを超える赤色の電線が絡まってしまい、解くのにかなりの時間を費やしてしまいました。互いに気持ちが落ち込み、気力も低下しとても辛かったです。声を掛け合いなんとか完成させることができました。完成してもすぐに終了報告はせず、最終チェックを制限時間ギリギリまで徹底的行いました。

結果としては、優秀賞をいただくことができました。都島



第二工業高校として最後の電気工事士技能競技大会出場だったので、最高の結果を残せてとても良い経験になりました。

最後になりましたが、電気工事士技能競技大会という、学校の授業では学習することのできない貴重な体験ができる大会を作ってくださった一般社団法人大阪電業協会様、並びに大会関係者様、本当にありがとうございました。そして、最後の最後まで付き合ってくれた先生方、本当にありがとうございました。



大阪府立堺工科高校

電気系3年 米田 海喜翔

私は、第18回若年者ものづくり競技大会で準優勝になり優勝することができなかったため、リベンジする機会として技能競技大会に出場しました。

私は、以前の大会の反省点を改善し、練習をしていました。今回の大会はひとりで作業する電気工事とは違いふたりで行うので、何が得意で何が不得意なのかを話し合い、効率的に施工ができるように頑張りました。

惜しくも優秀賞には届きませんでしたが、これからも違う大会に出場することがあれば、この気持ちを忘れず取り組みたいと思います。



電気系3年 亀 康二郎

私は、電気工事の大会に出場にあたり「絶対優勝」を目指して、たくさんの練習をしました。私の一番苦手なところはPF管の平行配管でした。たださえPF管は浮いてしまうので難しいのですが、今回は平行配管になるということで何回も練習しました。

今回は、プロの電気工事の方の作品を見ることによって自分の作品と比較し、ダメなところを探しとても参考になりました。この一日がとても意味のある日となりました。私ももっと練習をして、綺麗かつ速く施工できるようになりたいです。



大阪府立生野工業高校

電気科3年 近藤 陽翔

私が技能競技大会に参加しようと思ったきっかけは、生野工業の電気科に入り、今までやったことがないことに挑戦してきたからです。高校に入ってから、資格試験や応援団、部活動、さらにはアルバイトにも挑戦したおかげで、これらの様々な経験をして身についたことがたくさんありました。

次に、技能競技大会で身についたことについてです。この大会の本番に向けて練習していくにつれて、どうすれば効率的に作業できるかがわかるようになり、タイムを短くすることができました。結果的には3位の技能賞となってしまうとても悔しいです。

練習期間があまりなく、すべてのスイッチボックスの中のIV線を均等に切ってそろえることや、分電盤を固定するためのビスにワッシャーをつけて取り付けるところを、ワッシャーを忘れて分電盤を取り付けてしまったことや、分電盤の端子カバーをつけて完成させることを忘れてしまったのです。どれも本番前に確認していれば、することのなかったミスだと思うので、悔やんでも悔やみきれないと思います。

最後に、これから大会選手となる人たちにアドバイスをするとしたら、タイムは余裕でも、見た目をきれいにし、忘れていることがないかをしっかりと確認して終わるように練習していこう、と言おうと思いました。とてもいい経験になったので、たくさん練習してほしいなと思いました。ありがとうございました。

電気科3年 春永 碧斗

電気工事士技能競技大会を通して学んだこと、感じたことは、高校生の部に出場した身としては、ふたり一組で作業を行うことで、一緒に出場した相手とより絆を深めることができました。

練習期間はあまり多くはなく、就職試験や資格試験なども並行しながらで忙しい期間でしたが、ペアの友達とも関係をよりよくできました。



大会当日は途中まで作業が順調で、2時間よりも早くに作業が終わりそうだったと思い、数少ない練習の成果が出ていたのだと思いました。しかし、タイムスイッチのビスを失くしてしまい、探すために時間を割いてしまったことが、大会での焦りになってしまったかなと反省しています。

昨年の競技大会では、予備選手として練習を行っていましたが、2年生の私は時間以内に作品を一度も完成させることができず、練習を断念してしまいました。3年生に進級してからは選手として出場してほしいと先生からお声がかかり、最初は昨年こともあり迷いましたが、昨年断念したことへのリベンジということもあり出場しました。

課題は昨年よりも配管の部分が多くなっていて難しくなったと思いますが、昨年の練習ではPF管を主に自分の作業としていたので、今年は一人で配管・入線を行いました。3年生であることでさらに自信が付き、大会当日も頑張れたのだと思いました。

夏休みに行われた講習の際に課題図を拝見し、相手との作業を分担したことで、最初の練習から効率よく作業を行うことができました。ただ、並行配管の部分が平行にならず、45度の配管も真っすぐに加工修正ができなかった部分があり、反省しています。

今後は、後輩たちに、電気工事士技能競技大会での作品制作で気を付ける点について、自らの反省や経験を基にアドバイスをしていきたいと思います。

友達と作品を作り上げた達成感は素晴らしく、電気工事とはどのようなものなのか、どれほど難しいのかを学ぶことができ、とても良い経験になったと思います。電気工事士技能競技大会に出場でき、なおかつ技能賞もいただくことができ、とてもうれしく思います。

何事にも全力で取り組み、これからも競技大会で培ったものづくりの楽しさや達成感を忘れず、社会に出て行きたいと思います。素晴らしい経験をありがとうございました。



大阪府立今宮工科高等学校

工学系3年 松本 真大

去年に続き出場できて、本当に良かったです。1年間で電気工事にかかなり慣れたので、スムーズに作業することができました。私は電気工事が好きなので、楽しんで臨むことができました。

今年は余裕を持って練習することができ、



また後輩も飲み込みが早く万全の状態で作業することができました。練習ではPF管の綺麗さ、サドルの位置を特に意識して練習しました。また、分電盤や器具の施工に一番時間をかけました。そのために、それまでの作業をいかに効率よくできるか考えながら練習しました。優秀な後輩だったので、自分たちで主体的に行動することができました。

大会本番に向けて準備を勤めていく中で、後輩と考えが食い違うところがありました。線がジョイントボックスを素通りする箇所がありましたが、どうすれば楽に配線できるかに付いて考えが食い違いました。しかし、どのやり方が一番良いか検証しながら話し合い、それを積み重ね良い方法を見つけることができました。

私は、この大会の練習を通じて相手と意見を交換し合い、

良いものを見つけることの重要性、その方法を学ぶことができました。

結果は入賞することができませんでした。ですが、悔いのないようにしようと事前の準備をしてきたので、達成感を得ることができました。最後の大会で楽しむことができて良かったです。準備を手伝ってくださった方々、支えてくださった方々に感謝します。



大阪府立淀川工科高校

電気系3年 八木 斉昭

私は、電気工事の競技大会に参加させていただき、多くの事を学び知る事ができました。元々は、資格を得るために第二種電気工事士の試験に関わり、その講習を続けていくうちに興味を持つようになり、電気工事の分野に就職しようと思うきっかけになりました。その就活の間に今回の技能競技大会について知り、自分の将来のために参加しようと思いました。

パネル工事を通して、もうひとりのペアと協力してひとつのものを完成させる達成感を味わうなど、とても良い経験となりました。大会当日は、色々な失敗はありましたが、制限時間になんとか間に合わせることができ、喜びと成長を感じることができました。

競技終わりに指導員の方々からいただいたご指摘を忘れず、同じ失敗はせず、より技術を磨いていき、この経験を社会に出てから活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。



電気系3年 山下 量

私が今回出場させていただいた技能競技大会では、普段の実習よりもレベルの高い電気工事の施工をさせていただきました。大会までの学校での練習ではなかなか上手いはず苦戦していましたが、7月の生野工業高校での講習会で教えていただいたことを思い出しながら練習をしていくうちに、少しずつですが

できるようになってきました。

練習して間もないころは4時間以上かかっていたのに対し、最後は3時間以内に縮めることができました。今回の施工は、一般家庭の屋内配線に関するものであり、自分の就職する企業にも関わる内容でした。そして、これから100・200Vだけでなく高圧にも触れていくので、今回の電気回路・電気配線の施工では、電気工事の身近な危険を身に染みて理解することができました。

今回、このような有意義な大会に出場させていただいて、本当によかったと思っています。大会までに、いろいろとご迷惑をおかけしましたが、本当にありがとうございました。



大阪府立西野田工科高校

電気系3年 住田 善哉

私が、電気工事士技能競技大会に参加して一番記憶に残っていることは、エディオンアリーナ大阪という大規模な会場で大勢の人に観覧されながら、作品を製作したということです。

学校生活ではなかなか体験できない緊張感だったため、学校での練習に比べて非常に焦ってしまいました。そのため、相方とふたり揃って空回りをしてしまったため、作業の効率が悪くなってしまったことが一番の反省点です。

また、緊張から作業中に相方との関係がギクシャクしてしまい、作業の効率が悪くなったりミスが多発してしまったり、長時間のタイムロスが発生してしまいました。もっと相方のことを考えて作業するべきだったと感じました。高校を卒業して社会に出て、電気工事等の作業をする際には、一緒に作業する人のことを今以上に考えながら作業しなければならないと感じました。

今回の大会では作品を完成させることができず、不甲斐ない結果になってしまったため、見学、応援に来てくれた後輩に申し訳ないと感じました。後輩には、緊張やプレッシャーに負けないように絶対的な自信を持てるようになるほど、多くの練習をして競技大会に臨んでもらいたいと思いました。

私たちふたりの予定が合わず、2日間の実技指導講習のうち1日しか参加できなかったのも、もっと早くから練習しておけばよかったと思いました。

今回の大会では、不甲斐ない結果に終わってしまいました。今後の学校生活でも電気工事と向き合い、努力や日々の研鑽を怠らず、卒業後に就職した会社でリベンジするチャンスをいただけるように頑張りたいです。



電気系3年 中垣 結翔

私は、電気工事士技能競技大会を終えて、様々なことを学び感じました。

まず、学んだことはチームワークです。本番の時、作品を完成させなければならないという焦りから、チームワークが悪くなり、結果的に完成させることができませんでした。作業する場所をざっくりと右と左に分けてしまい、合成樹脂管の作業もふたりでやる予定が私ひとりで作業することになりました。

そこから学んだのは、普段からもっとコミュニケーションをとって話し合っておけばよかったと思いました。今後、仕事をやる上でチームワークを大事にするために、一緒に仕事をする先輩や上司とのコミュニケーションは欠かさずにしたいです。

次に学んだことは、器具の取り付ける速さや丁寧さです。本番で、サドルを付けたときに浮いていたり、ねじ穴をつぶしてしまったりと、解体で時間がかかってしまうミスをしてしまいました。また、器具を取り付けるスピードが遅く、その結果完成できなかったと思います。もっとできたかもしれないと後悔しています。

企業の方は、金属管までもひとりで全部こなしているのを見て、本当にすごいなと思いました。私も将来、電気工事の仕事をするようになったら、手際よく手際よく仕事ができたらと思いました。

そして採点者の方から「最初から話し合っていれば、もっとできたと思うし、電気工事は段取りやチームワークが大切になるから覚えておくように。お疲れ様でした」とアドバイスとねぎらいの言葉をいただきました。

今回は作品を完成させることはできませんでしたが、たくさんの出会いや学びがあり、とてもいい経験になりました。この経験や反省を活かしていきたいです。

未来に向けた新しいビジネス拠点を見学

11月30日(木)に、TOA株式会社の開発拠点「ナレッジスクエア」(兵庫県宝塚市)を見学させていただき、会員企業、事務局合わせて23名が参加しました。

まず初めに5階のカフェテリアにご案内いただいたのですが、エレベーターの壁がスケルトンのため、上昇中に各フロアで勤務している方々の姿を確認することができます。

オリエンテーションとして、会社概要、ナレッジスクエアの概要、宝塚市の市花を名前に持つすみれ防災スピーカーについてご紹介いただきました。

すみれ防災スピーカーは宝塚市の防災行政無線であり、市内45か所に設置され、音で緊急情報を知らせるものです。高性能なスピーカーで垂直方向への音の拡がり小さく、スピーカー直下の音量が抑えられるため、近くでも「やさしく」、遠くでも「はっきり」と聞こえるそうです。

次にご案内いただいたのが「ストレスフリー会議室」です。天井マイクで音声を認識し、発言者の方向にカメラが自動で切り替わり、さらには文字起こしも4か国語で実施可能とまさに音と映像、TOA様の得意分野を凝縮したシステムになっています。まだ商品化には至っていないようですが、近い将来、会議の効率化を図るツールとなることを目指して開発中とのことでした。

テクニカルプラザ「dB」はTOA様の歴史館であり、創業から現在へ至るまでの写真、製品が展示されています。集合写真はここをバックに撮影させていただきました。

音と光による演出でお迎えいただいたエントランスでは、音声明瞭化技術をご紹介いただきました。これはどういうものかといえば、例えばラッシュ時の駅のホームでは電車の走行音、人の話し声などで音声を聞き取りにくい状況ですが、その状況下において人の耳へアナウンスが届きやすくなる技術を用いているそうです。



テクニカルプラザ「dB」展示品



会員企業見学会参加者集合写真

開催日：11月30日(木)

見学先：TOA株式会社 ナレッジスクエア
兵庫県宝塚市高松町1-10

参加者：23名

続いて、1階に多数ある試験室をご案内いただきました。暗室はゼロlxでも被写体をとらえるテストを実施します。製品に使用するコードの屈曲、耐久試験、スイッチの耐久試験、製品の落下による耐衝撃試験、リチウム電池の温度試験をはじめ、散水試験、振動試験、電波の影響試験、他にもシステム検査室、恒温・恒湿室などがあり、様々な試験が実施され製品の完成に至るとご説明をいただきました。

私は初めて入ったのですが、音のテストを実施する無響室の構造がとても印象深く感じました。外部からの音をシャットアウトし、室内は音の反射を抑えるためクサビ形状の吸音材が壁、天井、床に敷き詰められた構造になっています。現地ではクラッカーを鳴らしていただき、非常に短く乾いたような感じの全く響かない音が聞こえることを

を実演いただきました。残念ながら写真撮影はできませんでしたが、インターネットで“無響室”と検索すればこういった構造のものかすぐに出てくるので、ご確認いただければと思います。

私たちが電気工事で使用する製品や、普段の生活で無意識に接している製品の完成までにはとても多くの実験や検査が必要であり、製品化に至るまでの苦労を思い知ることができました。ご案内いただいたTOAの皆さま、ありがとうございました。

(柳沢 記)

技能労働者の目標像としての活躍を期待！

日本電設工業協会主催 2023年度 登録電気工事基幹技能者認定講習

日本電設工業協会では、2008（平成20）年4月から、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録電気工事基幹技能者」の認定評価を行うための講習を開催しています。同会では「電気工事業」と「電気通信工事業」の2業種を取り扱っています。

なお、同会では、建設マスター（優秀施工者 国土交通大臣顕彰）および建設ジュニアマスター（青年優秀施工者 不動産・建設経済局長顕彰）の推薦条件として、登録電気工事基幹技能者の認定資格を取得していることを規定しています。

- 日 時 10月28日（土）～29日（日）
9:30～17:40
- 場 所 エル・おおさか 南ホール
（大阪市中央区北浜東3-14）
- 主催者 日本電設工業協会 関西支部
- 受講者 67名
- 合格者 66名（合格率98.5%）

1. 「登録電気工事基幹技能者」に求められる役割

以下の役割発揮により、生産性が高く、安全で品質に優れた電気設備工事施工の実現を図ること

- (1) 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整
- (2) リーダーシップの発揮による、現場施工の円滑化および施工品質向上の実現
- (3) 現場代理人（現場管理技術者）や職長（技能者の指揮・監督者）に対する連絡、調整、提案

2. 「登録電気工事基幹技能者」認定講習の概要

- (1) 認定講習（2日間・11時間）
- (2) 修了試験（1時間、合格：60点／100点満点）
 - ・選択問題 14問（配点70点）
 - ・記述式（※） 1問（配点30点）

※受講者が電気工事現場において、職長の立場で特に留意した事項と、その処置または対策等を問う

3. 「登録電気工事基幹技能者」認定講習の受講条件

- (1) 第一種電気工事士免状を取得していること
- (2) 電気工事若しくは電気通信工事の直接施工業務に従事し、10年以上の実務経験があること
- (3) 労働安全衛生法第60条による職長教育を修了し、受講申込日までに3年以上の職長経験を有している者

認定講習の内容

	科 目	時 間	講 師（敬称略）
1 日 目	電気工事における新材料・新工法、法改正等OJT教育	2時間	浅海電気㈱ 大鹿 徳夫
	施工・原価・事務管理、関連法規	2.5時間	㈱クリハラント 前田 勇
	工程・資材管理	2時間	住友電設㈱ 居安 正智
2 日 目	登録電気工事基幹技能者の概要	1時間	中央電設㈱ 小西 修一
	安全・労務管理	2時間	㈱きんでん 岡田 靖彦
	品質・環境管理	1.5時間	栗原工業㈱ 中村 寛

各講師とも、講義のメリハリをつけ、分かりやすく説明されていました。

講習終了後、引き続き行われた修了試験には67名が挑戦され、66名が合格されました。合格された受講者の皆様、おめでとうございます。

講師を務めていただきました6名の皆さま、ありがとうございました。誌面をお借りしまして、心から御礼申し上げます。

（事務局 記）



修了試験を控え緊張が高まります

大阪電業協会主催 2023年度 職長教育

「労働安全衛生法第60条」では、新たに職長（作業中の労働者を直接指導または監督する者）になった第一線の現場監督者に対して、事業者が、作業手順の定め方、指導および教育の方法、設備の保守管理の方法等の教育を行うことを義務付けています。

一方「労働安全衛生法第16条」では、建設業における通常50人以上の混在作業現場において、関係請負人側が選任する職として安全衛生責任者（元請や他職種との連絡・調整を行い、労働災害防止に当たる者）を規定しています。

大阪電業協会では、これら法令に定められた「職長・安全衛生責任者教育」を1975（昭和50）年から毎年実施しており、現在まで延べ3,254名の会員企業社員が受講されました。

職長教育修了後、3年以上の職長経験を有している方は、登録電気工事基幹技能者認定講習の受講資格のひとつを満たすことになります。

1日目の林講師は社内外での豊富な講師経験を活かし、職長教育冊子以外の資料を取り混ぜながら、語り掛けるような口調でお話されていました。

2日目の中村講師はグループワークに主体を置き、時折現場での体験談を交えながら、熱のこもった講義を展開されていました。

両講師とも、合間には自己の経験談等も取り入れるなど、進行にメリハリをつけ「飽きさせず、疲れさせない」2日間の講習となりました。

受講者の皆さま、今回学んだ事を現場で生かしていただき、安全作業の継続をお願いいたします。

また、講師を務めていただきましたお二人につきましては、誌面をお借りして心から御礼申し上げます。

（事務局 記）

- 日 時 11月15日（水）～16日（木） 9:00～17:00
- 場 所 大阪電業協会 会議室
- 講 師 1日目：林 達也 氏（住友電設㈱）
2日目：中村 寛 氏（栗原工業㈱）
- 受講者 11社 21名

【内容】学科・演習（14時間）

- ① 職長、安全衛生責任者の役割 （2時間）
- ② 異常時、災害発生時における措置 （1.5時間）
- ③ 現場監督者として行うべき労働災害防止活動 （2時間）
- ④ 作業手順の定め方、労働者の適正な配置 （2時間）
- ⑤ 労働者に対する指導・監督の方法 （2.5時間）
- ⑥ 危険性・有害性等の調査、調査結果に基づき講ずる措置 （4時間）



1日目（林講師）

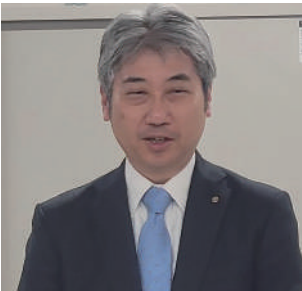


2日目（中村講師）

引き続き業界の魅力を発信！

府内工業系高校教員との意見交換

- 日 時 2024年2月21日（水）15:00 ～ 17:00
- 場 所 大阪電業協会 会議室
大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル5階
- 参加者 高校 8校 9名
・工業高校 5校 6名
生野、泉尾、東淀、都島(2)、都島第二
・工科高校 3校 3名
西野田、城東、淀川
大阪電業協会 12名
・人材部会 8名 岩本部会長 他
・中小部会 2名 橋本部会長 他
・事務局 2名 土井専務理事 他



岩本人材部会長 開会挨拶



橋本中小部会長 閉会挨拶

- 次 第 1. 開会挨拶（岩本人材部会長）
2. 大阪電業協会 入職促進事業について（辰井事務局長）
(1) 電気設備工事スキルアップ助成制度（設立50周年記念事業）
2024年1月の第一種電気工事士試験合格者への助成をもって終了見込（当初設定予算への到達が予想されるため）
(2) 電気系卒業生の進路調査（2023.3卒）会員企業への就職者数・率が大幅に低下
➡年度によって、生徒のタイプが違ふことはよくあり、理由の特定は難しい。
(3) 出前授業
「就職の心構え」等、学校の要望に応じた組立てが可能。積極的な活用をお願いする。
3. 意見交換
4. 閉会挨拶（橋本中小部会長）

意見交換（抜粋）

先生方から大阪電業協会への質問

- ①電材の購入費用が高騰し、学校予算を圧迫している。
➡見積徴収先は限られており、学校と取引のない電材会社を紹介させていただく。
- ②生徒に現場のイメージを伝えるため、協会作成動画を教育現場で使用したい。
※府立校生には、1人1台端末（Chromebook）を導入済
➡入職促進動画（URL）と動画を補完するテキスト（PDF）を提供

先生方からは、その他にも以下の質問をいただき、意見交換を実施した。

- 「高卒社員のうち、工業高校卒と普通科卒では、どのような違いがあるのか」
- 「大学進学率が高まる傾向がある中で、企業から見た大卒生と高卒生の違いは何か」
- 「電気工事の知識や経験がない若手をどのように育成されているのか」
- 「外国人労働者が、どのような仕事に従事されているのか」

大阪電業協会から先生方への質問

- ①求人票のデジタル化により、生徒の会社選択に変化が生じているのか。
➡大阪府は、handy進路指導室と「就職指導DX化」に向け連携協定済（2022年6月）
・進路指導担当教員の業務量が大幅に削減した。
・生徒の使い勝手が向上（自宅から近い会社、休日の多い会社等自由に検索）
・親とよく話をして、志望先を決めることができた（親の意見が強くなった）。

本会からは、その他にも以下について質問し、意見交換を実施した。

- 「電設企業を選んでいただくために、業界としてできることは何か」
- 「府立工業系高校の再編により、電気系学科はどのように変わっていくのか」



大学電気系学科教員・キャリアセンターとの意見交換

- 日 時 2024年2月28日(水) 15:00~17:00
- 場 所 関西大学梅田キャンパス 7階 705
大阪市北区鶴野町 1-5
- 参加者 大学 8校 9名
・電気系学科教員 7校 7名
大阪工業大学(WEB)、大阪産業大学、
大阪電気通信大学、関西大学、大阪公立大学、
立命館大学、産業技術短期大学
・キャリアセンター 2校 2名
大阪産業大学、大和大学
大阪電業協会 9名
・人材部会 8名 岩本部長 他
・事務局 1名 辰井事務局長



岩本部長 開会挨拶



乾副部長 閉会挨拶

- 次 第 1. 開会挨拶(岩本部長)
2. 「働き方改革」の推進に取組む事例の紹介
(1) 日本電設工業協会 関西支部「働き方改革」
の推進申入れ(辰井事務局長)
① 関西支部管下電業協会における申入
れ活動の実施(2023年10月~)
② 日本建設連合会 関西支部への申入れ
(2024年2月)
(2) 生産性向上に向けた会員企業の取組み
① 住友電設(株) 現場業務における生産
性向上への取組み: 中尾部会員
② 近畿設備(株) 現場業務における生産
性向上への取組み: 仙崎部会員
③ 栗原工業(株) BIMを活用したデジタ
ルファブリケーション:
(代) 辰井事務局長
④ (株)クリハラント 新技術・クリーン
エネルギーへの取組み: 原部会員
⑤ 三栄電気工業(株) 山形県事務所によ
る施工管理職の図面作成業務支援:
花市部会員
3. 意見交換
4. 閉会挨拶(乾副部長)

意見交換(抜粋)

「学生参加型行事」に参加をいただくために

- ① 電気工学系大学生現場見学
➡ ・オンライン参加
・(授業期間中であれば)土曜日開催の検討
- ② 電気設備工事業界研究セミナー
➡ 教員の案内に頼っていた大学は、キャリアセン
ターの支援が必須

大阪電業協会から先生方への質問

- ① 電設企業アプローチの改善点
➡ 出会いは手軽に(1day・WEB)、次のステップ
として数日間の就業体験を用意
- ② 最近の電気系学生が「企業を選ぶポイント」として重
視するもの
➡ 大手志向や職種のこだわりが、以前よりも薄れ
ている。



本会からは、その他にも以下について質問し、意見交換を実施した。

- ・「就職活動の早期化について、どのような実感を持たれていますか」
- ・「企業が仕事研究やインターンシップを開催する時期は、いつ頃がベストだと思われますか」
- ・「電気系学生は、平均して何回位、仕事研究やインターンシップに参加されるのでしょうか」

この度は貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。

見て、感じて、学ぶ！

「NTT都市開発（仮称）御堂筋淡路町ビル新築工事」現場を見学

9月8日（金）、株式会社きんでんと住友電設株式会社が電気設備工事を施工する現場において、電気を学ぶ学生向けの現場見学を開催しました。

今回は、3校から16名に参加いただき、実際の現場見学の他、施工関係者との質疑・応答の場を設けました。参加者らは、普段見ることができない施工現場の見学を貴重な機会と捉え、真剣なまなざしで参加していました。

建物概要

工事件名 (仮称) 御堂筋淡路町ビル新築工事
住 所 大阪府中央区淡路町4-2-13
建物用途 オフィスビル（地下2階-地上21階-塔屋1階）
施 主 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
建築会社 鹿島建設株式会社
電気設備施工 株式会社きんでん、住友電設株式会社



参加者

参加人数 16名（学生15名 教員1名）
参 加 校 3校（大阪工業大学・大阪電気通信大学・東大阪高等職業技術専門学校）

見学会

当日は13時30分からスタートし、本会広報委員会の井下 智仁理事が開会のあいさつに立ちました。冒頭、現場見学の開催に協力いただいた鹿島建設様ときんでん様、住友電設様に感謝の言葉を述べたうえで、参加者らに「百聞は一見に如かずと言うが、実際に建物内の電気設備を見ることは非常に価値のあるものだ」と強調するとともに、電気設備工事の業務の特長を説明しました。最後に「本日の現場見学で多くのことを学んで感じてほしい。くれぐれも怪我をしないように、ご安全に」と呼び掛けました。

次に、現場関係者として、鹿島建設の副所長を務める長谷 勝久様、同社主任の松尾 祐樹様、同社の永倉 直武様、電気設備工事の現場代理人であるきんでん大阪支社第二工事部主任の大田 利治様、住友電設大阪支社主席の数田 一也様、同社の長畑 和樹様が紹介されました。

長谷様からのご挨拶の後、松尾様から建物全体の概要や現場の進捗状況について説明がありました。最後に、司会から現場見学に関する注意事項が示され、オリエンテーションは終了しました。



その後、参加者らは2班に分かれて現場を見学。竣工を目指し、多くの作業員が作業する中で、受変電設備や発電設備、執務室といった建物内のフロアを1時間かけて巡りました。

中でも電気室では、送電前ということもあり、受変電設備の内側まで見る事ができました。参加者らは、現場を先導した現場関係者の説明に熱心に耳を傾けるとともに、実際の「現場」を肌で感じる事ができました。

現場見学の後は質疑・応答の場が設けられ、参加者たちからの施工に関する多くの質問・疑問に対して、施工関係者から丁寧かつ真摯な受け答えがありました。

最後に、長谷様から、働き方改革への取り組みやこれからの業界のあり方について、熱く語りかけていただき、盛況のうちに幕を閉じました。

後日、参加者からのアンケートを拝見しましたが、電気設備工事業界への興味が上がったという回答や、新鮮で興味深い経験ができたという回答を多くいただきました。今後も本会では、この現場見学が入職促進に向けた重要なイベントであることを再認識し、実りある内容で継続実施したいと考えます。

最後に、今回の現場見学にご理解とご協力をいただきましたNTT都市開発様、鹿島建設様、きんでん様、住友電設様のご関係者に対して、誌面をお借りして心から御礼申し上げます。
(田中(健) 記)

これは、いいね!・・・「自慢大賞」発表

第3回フォト自慢から賞を変え(2位、3位、参加賞を新設)、13名の方から19作品の投稿がありました。お気に入りのワンショットをご提供いただき、ありがとうございました。広報委員会メンバーによる審査結果を発表します。



灯りを抱く子供

㈱きんでん
渡辺 康司さん



自慢者 コメント

すっかり暗くなった夜道を息子(5歳)と帰宅途中、歩道脇にあるポール灯を見つけて、光で遊び始めました。暗闇の中から映し出す、無邪気で少し不気味な表情が面白い写真が撮れました。

2位

電気設備をつくる人

日本電設工業(株) 大阪支店
伊藤 舜也さん



社内の研修施設で実習中のひとコマです。電気設備をつくる人の姿を1枚の写真に収めました。

3位

まっさらなトンネル まもなく開通！



マルヤ電気(株)
田口 晴義さん

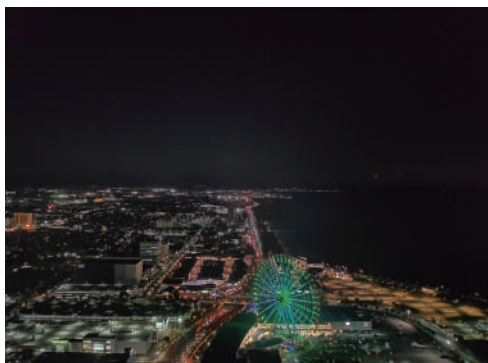
登録電気工事基幹技能者として現場管理を行い、無事やり遂げることができました。

その他に投稿いただいた写真をおひとりにつき1点をご紹介します。

Good Night

日本電設工業(株) 大阪支店
田中 克昌さん

毎年冬に開催されている、なんばパークスのイルミネーション。撮影した写真をお洒落っぽくひとつにまとめてみました。



りんくう 街の灯

三栄電気工業(株)
山口 明子さん

冬を迎える前のりんくうタウン(泉佐野市)。星明かりのない夜空と海、人々が生きる街の灯が輝く模様にちょっぴり感動しての1枚です。

かの日から 雪恋解けず 迎う春

三栄電気工業(株) 倉 憲一さん

今から十数年前に立ち寄ったひるぜん雪恋まつり(岡山県真庭市)。電気技術者としてライトアップやイルミネーションで街を輝かせる日々にあって、静かなろうそくの灯は温かく私と妻を包んでくれました。ふたりで出かけた思い出の1枚です。



大阪良いところ 一度はおいで!

浅海電気(株) 西村 隆弘さん

大阪市北区曽根崎、路地裏の原風景。電気はあらゆるところで温かみを提供する設備。今日も一杯いかがでしょう?



東京のランドマーク

浅海電気(株)
六間口 るりさん

東京のランドマークが、東京タワーから六本木ミッドタウンなどの超高層オフィスビルへと変貌していく様子が伺えます。

空の花籠

三和電業(株) 関西支店
島 知恵美さん

春の藤原岳(三重県)で急坂を登りきると、足元に紫のカタクリの花。頭上に幾何学的な文様と青空、爽やかな風に吹かれました。



癒しの光

日本ファシリオ(株) 大阪本店
幸堀 真樹さん

以前、家族旅行で三重県志摩市を訪れた際に撮った1枚です。派手さはありませんが、光の幻想的な雰囲気にも心も癒されました。



冬の訪れ

日本ファシリオ(株) 大阪本店
藤井 弘則さん

梅田のグランフロント大阪での1枚です。このようなイルミネーションが街を彩ると、冬の訪れを感じます。



38年ぶりの日本一!

(一社)大阪電業協会 事務局
芝 貴美恵さん

阪神梅田駅構内も賑わっています。写真撮影にも並びました。



クリーンエネルギー

(一社)大阪電業協会 事務局
木下 真澄さん

青山高原ウインドファーム(三重県)で撮影。夜景以外の電気を考え、風力発電の風車を思いつきました。風車が想像以上に大きくて驚きました。



次回 応募締切 **7月31日** 詳しくは、表紙裏面に掲載しています。たくさんの投稿をお待ちしています!

端子締付け管理システムの開発

株式会社きんでん
京都研究所
江川 正人

1. 開発背景

ケーブルの端子接続部における締付け不足や締付け過多などによる発熱・焼損といったトラブル防止対策として、当社ではスタッド端子台（ナット締付）を使用し、JIS C 2805に準拠したトルク値で締付けることを標準としている。しかし、締付け箇所が多い場合、手動式トルクレンチを用いるため多大な労力を要しており、電動化による効率化が求められている。また、作業性重視で最初にまとめて締付けを行い、その後、締付

け確認用マーキングを行った場合、締め忘れた箇所までマーキングを行う危険性があり、締付け直後に容易にマーキング可能な装置が求められている。このような背景のもと、JIS C 2805に準拠したM8～M12のスタッド端子台に対応した、充電インパクトドライバによる締付けと、締付け直後にマーキングができる端子締付け管理システムを開発した。

2. 端子締付け管理システムの概要

写真1に開発した端子締付け管理システムの全体構成、表1に基本仕様を示す。端子締付け管理システムは、充電インパクトドライバとインパクト用マーキングで構成されている。

表1 基本仕様

本体寸法	W153mm×D59mm×H231mm
本体質量	1.15kg(電池パック含む)
締付けおよびマーキング対応サイズ	M8、M10、M12
締付けトルク値	M8 : 10 N・m M10 : 23 N・m M12 : 39 N・m

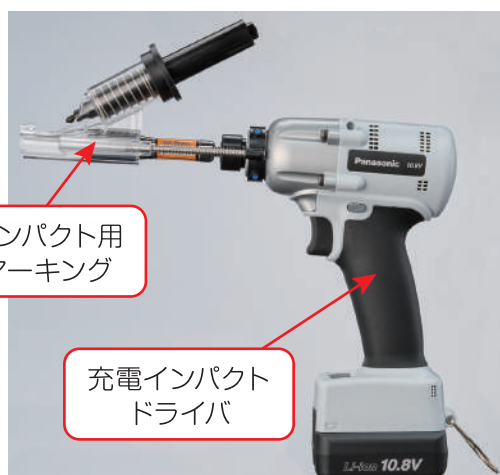


写真1 端子締付け管理システム

① 簡単なトルク設定

写真2に示すとおり、設定ボタンを押し、締付けるボルトサイズ「M8」「M10」「M12」に設定することで、表2に示すJIS C 2805に準拠したトルク値で締付けることが可能である。「F」に設定すると、トルク制限なしの締付けが可能である。

表2 JIS C 2805に準拠したトルク値

ボルトサイズ	トルク値[N・m]
M8	10
M10	23
M12	39



写真2 トルク設定

② 二度締め防止

締付け完了後、誤って二度締めすると締め過ぎとなるため、締付け完了後、不意にスイッチを引いても2秒間動作しない設定としている。さらに、写真3に示すとおり、緑ランプと音で締付け完了を作業者に告知するため、信頼性の高い確実なトルク管理を行うことができる。



写真3 締付け完了告知

③ 締付け後の容易なマーキング

インパクト用マーキングは、図1に示すとおり、充電インパクトドライバの先端の締付けソケット部に、バネによるソケット離間機構を備えている。バネの力で締付け直後に締付けソケットを持ち上げてマーキングする空間を確保し、マーカを押し込むと、写真4に示すとおり、確実にボルトとナットの交点部にマーキングすることが可能である。締付け直後に行うことで、締め忘れ防止ができる。

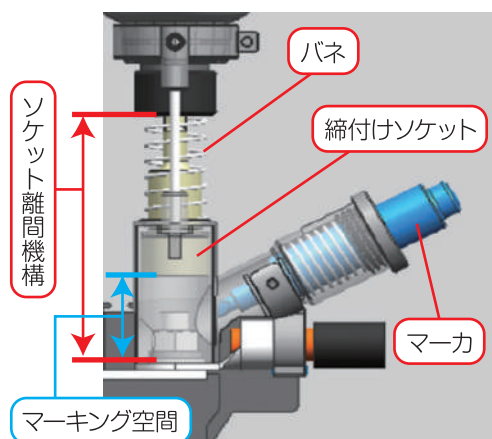


図1 インパクト用マーキング

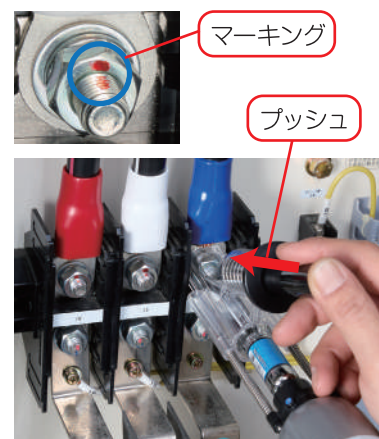


写真4 マーキングイメージ

3. 性能検証

3.1. 試験方法

試験は、図2に示すコンクリートパネルに取付けた3PのM8～M12のスタッド端子台に対し各6箇所、従来作業（機械式トルクレンチによる締付けおよびマジックによるマーキング）と、開発品による締付けおよびマーキングを行った際の作業時間を比較した。作業者は、建設現場での作業経験を有する25歳～42歳の3名とした。

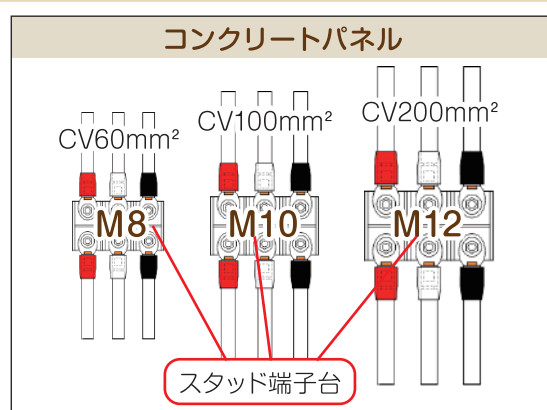


図2 試験イメージ

使用工具



(従来作業)



(開発品による作業)

3.2. 検証結果

開発品による作業を従来作業と比較した結果、表3に示すとおり、平均で36%の時間短縮が可能であることを確認した。

表3 作業時間確認試験結果

	平均作業時間		時間差	低減率
	従来作業	開発品		
M8	450秒	315秒	135秒	30%
M10	370秒	210秒	160秒	43%
M12	333秒	208秒	125秒	37%
平均	384秒 (64秒/箇所)	244秒 (41秒/箇所)	140秒	36%

4. おわりに

JIS C 2805に準拠したM8～M12のスタッド端子台の締付けと、締付け直後にマーキングが可能な「端子締付け管理システム」を開発し、性能検証した結果、そ

の有効性を確認できた。

今後は、当社施工現場での活用により、作業の効率化と施工トラブル撲滅に取り組む予定である。



豊臣秀吉の生誕地 「名古屋市中村区」

株式会社トーエネック 大阪本部
加藤 憲二郎



私が生まれ育った名古屋市中村区は名古屋市の西部に位置し、豊臣秀吉の生誕地としても有名です。名古屋の玄関口であるJR名古屋駅周辺は、中区の栄地区とともに大規模商圈を形成しており、交通の利便性からオフィスも多く、ビジネス街としての顔も持っています。

近年は超高層ビルが次々と建設され、新しいランドマークとして市民から注目を集め、また名古屋駅の南に広がるささしまライブ24地区は、大規模な再開発地区として、大学やホテルなどの誘致も進んでいます。

区の中央部にある中村公園周辺は、豊臣秀吉と名古屋城を築城した加藤清正のゆかりの地とされ、歴史的遺跡も多く見られます。公園を中心に住宅地が形成され、静かなたたずまいを見せており、西部は庄内川の河川敷を利用した広範囲の緑地があり、自然とふれあう区民の憩いの場となっています。

ふるさと自慢 1 名古屋市中村区の歴史と歴史人

かつては庄内川に沿っていくつかの村があり、ほとんどが農家として作物を作っていました。

周辺は、豊富な水をためた庄内川によって、稲作に適した水田とされていたためです。平安時代には中村公園一帯の地をすでに中村郷と呼んでおり、古くから「中村」の名前が使われていました。

鎌倉時代に鎌倉街道がこの地を通ると、萱津の東宿として開けてきました。

戦国時代には中村の地に豊臣秀吉、加藤清正が出生。

1610年に、加藤清正をはじめとする諸大名によって名古屋城が築城されました。江戸末期から明治中期までに、現在の中村区内には20近い村がありましたが、名古屋市が誕生した1889年には、鷹場村、日比津村、織豊村、笈瀬村、柳森村、松葉村、岩塚村の7つに集約され、さらに鷹場村、日比津村、織豊村は中村に、笈瀬村は愛知町に、柳森村、松葉村、岩塚村は常盤村へと合併や町名変更を行いました。これに先立って1886年には官設鉄道の名護屋駅が開業し、翌年に名古屋駅と改称しています。鉄道の開通は大きな効果をもたらした、名古屋駅周辺は著しく発展しました。昭和初期には名鉄名古屋駅が開業し、交通網が整備されていきました。

1937年に中区の一部と西区の一部によって中村区が誕生し、現在の区域を形成しました。

中村区は、名古屋市を構成する16区のひとつで、JR「名古屋駅」西口周辺に位置します。

駅周辺は再開発が盛んに進められており、大型の商業施設も充実。ショッピングを楽しむにはもってこいのエリアです。なかでも、名古屋駅に直結している複合商業施設「JRセントラルタワーズ」は中村区のシンボルのような存



【中村区魅力マップ】



在。ジェイアール名古屋タカシマヤ・東急ハンズ・名古屋マリオットアソシアホテル・名古屋JRゲートタワーホテルなどが入っており、その他にもレストラン・ユニクロ・ビックカメラ・三省堂書店など挙げればきりがありません。最上階の51階にあるカフェやレストランからは名古屋市内を一望でき、絶景スポットとしても有名です。

区域中央にある「名古屋市秀吉清正記念館」も定番の観光名所。中村区の地で生まれた「豊臣秀吉」と「加藤清正」に関する資料館です。常設展示では、秀吉が「織田信長」に仕えるところから、大坂の陣による豊臣氏滅亡まで、5つのテーマに分けて紹介されています。また、周辺には豊国神社や常泉寺など歴史ある寺社仏閣が多く、周辺散策を楽しめるのもポイントです。

ふるさと自慢 2 名古屋市中村区のイベント

中村区のイベントでは、尾張三大奇祭のひとつ「岩塚七所社きねこさ祭」が有名。毎年、旧暦の1月17日に開催されます。当日は、川祭り神事や古式行列など様々な催しが行われ、子孫繁栄・天下泰平・五穀豊穰などを祈願するお祭りです。

まだまだ紹介したいところがたくさんありますが、中村は都市としての高度な機能と「秀吉・清正生誕の地」としてロマンあふれる歴史とが共存する、相互調和のとれた活力と魅力ある街です。

それと、名古屋グルメでは「ひつまぶし」「味噌カツ」「あんかけスパ」「味噌煮込みうどん」などがあり、楽しみ満載となっています。是非一度、名古屋にお越しいただき、様々な探索をされてみてはいかがでしょうか。



1：名古屋市秀吉清正記念館
2：豊国神社
3：常泉寺
4：七所社
5：岩塚七所社きねこさ祭
本記事に使用した写真は、執筆者から掲載元に対して、利用の許可を取り付け済です。



2023年のふたつのイベント

栗原工業株式会社
長谷 陽子



昨年、2023年はふたつの大きなイベントに関わらせていただきました。ひとつは令和5年度 日本電設工業協会 会員大会。もうひとつは大阪高知県人会 再結成総会。

2022年4月19日、大阪電業協会の総務委員会に専門委員として初めて参加した時から『令和5年度 日本電設工業協会 会員大会』の話が議題にあがっていました。当時の私は、会員大会が何なのか何がなされるのか、どういう規模のものなのか全くわからず、1年半先のイベントに今から準備するのかと驚きさえも感じていました。

そんな呑気に構えていた私とは違い、大阪電業協会 専務理事の土井さんは常に焦っておられて「そろそろ決めていかないと大変です」と総務委員会の皆さんに発破をかけていました。

聞くとところによると土井さんは、2014年の前回の会員大会を経験し、大変な思いをなされたとか。その経験があるがゆえ、とはいえ、それでもなお私は相変わらず呑気に構えていました。

ところが、2023年に入り状況は一変します。イベントを主催する立場となってしまったのです。それが前述にもある『大阪高知県人会』のイベントです。

大阪高知県人会

私自身は、生まれも育ちも大阪です。そんな私がなぜ大阪高知県人会のイベントを主催する側になったかという

と、弊社栗原工業株式会社 代表取締役社長 横井 正温が高知県出身であり、故郷高知への地域貢献のため、大阪高知県人会の会長を引き受けることに。

当初は、ちょっとしたお手伝いのつもりでいたのですが、話を進めていくうちに、県人会の事務局としてお手伝いさせていただくことといたしました。

大阪高知県人会は、1948(昭和23)年8月に発足してから長く続いていましたが、2021年に一度解散してしまいました。高知県の浜田 省司知事は、元大阪府副知事の経歴もあり、関西戦略に注力されておられます。2025年の関西万博・IRに向けて関西と連携し、県産物の外商拡大や観光誘致。2024年7月には梅田に高知県のアンテナショップを開設するなど、関西に向けた取り組みを継続されています。

そのような中で、一度解散してしまった大阪高知県人会を立ち上げ直してほしいというお話が横井の元に舞い込んできたわけです。立ち上げるといっても、手元にあるのは2021年当時の名簿のみ。まずは大阪高知県人会の発足が必要です。理事を数名選定して理事会を開催し、総会を行おうという運びになりました。

ホテルの会場を押さえ、開催の日程を決定。旧県人会の会員に対して、大阪高知県人会の再結成と総会開催の案内を送付。次に費用をどうするか。総会の会費だけでは到底運営できません。そこで、高知県にゆかりのある企業に



- 1: 日本電設工業協会会員大会 総勢500名の大規模な懇親会でした
- 2: 会員大会では、タイムキーパーとして司会の田畑さんの横につかせていただきました
- 3: 大阪高知県人会総会の模様は、地元メディアのRKC高知放送、テレビ高知、高知新聞にも取り上げられました
<https://www.youtube.com/watch?v=vDBGnLlp5k4> 画像提供=RKC高知放送
- 4: 舞台上での華やかなよさこい踊りに魅了されました
- 5: よさこい踊りは、会場も一緒に踊って大変盛り上がりしました



手当たり次第案内を送り、協賛のお願いをしました。そして、司会はどうするのか、アトラクションはどうするのか、来賓は、挨拶は、と決めていけないことが山積みです。土井さんのお気持ちを痛感する日々でした。

やるからには楽しんでいただけるイベントにしたい、とその一心でした。当初、横井が掲げたこのイベントの招集目標は100名でした。

日本電設工業協会会員大会

大阪高知県人会の総会開催に向けて準備を進めていくのと同時に、会員大会の開催に向けた準備も進んでいきます。土井さんから、会員大会でのそれぞれの役割を与えられました。私の役割はタイムキーパー。会員大会当日、進行台本を片手に司会の横に立ち進行する係です。

早い段階で、土井さんから進行台本がデータで送られてきました。まだ色々なものが決まっていない段階で早すぎませんか？と思っていたのですが・・・これは！県人会の総会の参考になるじゃないですか！ナイス土井さん！

土井さんが作られた進行台本は、舞台上の行動まで事細かく記されていて、とても真似できるものではありませんでした。完璧すぎる進行台本を参考に、私なりの県人会総会の進行台本を作成することができました。

また、タイミングよく、会員大会の開催が10月12日(木)、大阪高知県人会総会の開催が11月3日(金)、と会員大会を経験することで、県人会総会の対応の参考になりました。

司会者の臨機応変な対応もまた参考になりましたし、会員大会の全体の流れ、ホテル側の動き、トラブル対応も非常に勉強になりました。そして、皆さんご存じのとおり、本当に素晴らしい大会でした。

後から聞いた話ですが、土井さんは私が県人会総会に

向けて準備していることを知っていたので、あえてタイムキーパーの役割を与えてくださったそうです。なかなかの策士です。

ふたつのイベント

ふたつのイベントが同時に進行したおかげで、大阪高知県人会再結成総会も盛況に終了することができ、横井の目標100名に対し、最終250名の参加者数となりました。

事務局を引き受けてしまい、後悔した日々も正直ありましたが、横井と二人三脚でやり終えた達成感と、陰ながら応援してくださった土井さんや様々な人に助けられ、何にも代えがたい経験をさせていただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

最後に、大阪高知県人会総会は、今年も5月25日(土)11時～ ホテル阪急インターナショナルで開催いたします。初ガツオを始めとした高知の特産物の紹介や、よさこい踊りなども企画しております。高知県の各局長の皆様にもご出席を依頼しております。

高知県出身者だけでなく、高知を応援する方も参加可能です。お申込みは、申込フォーム(QRコード)もしくは、栗原工業の長谷(ながたに)までご連絡ください。(連絡先: 06-4709-2301)



高知県人会総会
申込フォーム



第566回理事会

日 時 9月19日(火) 14:00~14:45
場 所 中央電気倶楽部 5F 511号室
(大阪市北区堂島浜2-1-25)

第1号議案 各委員会事業報告

【総務委員会】

- 第30回大阪府建設業暴力追放推進大会(参加報告)
9月1日(金) 建設交流館
参 加: 役員会社 21社 41名
- 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰(候補者の推薦依頼)
9月6日、メールマガジンによる案内を開始(10月20日締切)
- 永年勤続者表彰(対象者の申請依頼)
9月6日、メールマガジンによる案内を開始(10月6日締切)

【経営委員会】

- 大阪電業協会 防災協定連絡網の更新
役員企業に対して、変更有無の確認を行い、防災協定連絡網を更新
- 公共工事発注機関との意見交換(開催日程)
 - 大阪府 都市整備部 住宅建築局 公共建築室 設備課:
11月27日(月)
 - 近畿地方整備局 営繕部: 12月5日(火)
 - 西日本高速道路株式会社: 調整中
- 大阪府下衛星都市への分離発注陳情
11月からの日本電設工業協会 分離発注促進キャンペーンに合わせ、大阪空気調和衛生工業協会と合同で、大阪府下42市町村への分離発注陳情を実施する
- 青年部会活動報告について(事業予定)
 - 2023年度 女性向け研修会
開催日 9月21日(木)
場 所 ハートンホール大阪
講 師 Alive代表 川北 麻紀 氏
参加者 17社 38名(9月11日現在)
 - 養護施設児童とのデイキャンプ活動
開催日 10月21日(土)
場 所 羽衣青少年センター
参加者 北摂ブロック児童 59名参加予定
 - レクリエーション活動
開催日 11月18日(土)
場 所 農業公園信貴山のどか村(奈良県)

【技術・技能委員会】

- 第51回 電気工事士技能競技大会(開催概要)
開催日 10月26日(木)
会 場 エディオンアリーナ大阪(大阪府立体育会館)
第一競技場
参加者 9月22日締切で募集中(9月15日現在)
 - 一般の部 20社 24名
(募集定員 36名)
 - 高校生の部 6校 12名
次 第 開会式 9:00~
競 技 9:30~12:30
表彰式 16:00~

【労務・安全委員会】

- 専門委員候補者の推薦
第2号議案で説明
- 2023年度 登録電気工事基幹技能者 認定講習会
開催日 10月28日(土)、29日(日)
会 場 エル・おおさか 南ホール
参加者 70名
- 2023年度 職長教育
開催日 11月15日(水)、16日(木)
会 場 大阪電業協会 会議室
参加者 定員30名で案内予定
- 2023年度 実技講習会
内 容 シーケンス制御の基礎
 - 11月21日(火)、22日(水) 募集定員 15名
 - 12月21日(木)、22日(金) 募集定員 15名受変電設備の概要と停電・復電操作
 - 2024年1月9日(火)、10日(水) 募集定員 18名場 所 きんでん学園
募 集 9月下旬、関西支部 6電業協会に案内開始予定

【広報委員会】

- 第30回 電気工学系大学生現場見学(開催報告)
開催日 9月8日(金)
場 所 (仮称) 御堂筋淡路町ビル新築工事
参加者 16名(大阪工業大学、大阪電気通信大学、東大阪高等職業技術専門学校)
- 電気工事士技能競技大会(高校等への見学案内)
専門委員、事務局により、工業系高校15校、専門学校1校、職業訓練校1校、計17校への案内を行う
- 会報秋季号(2023年9月末発行予定)
各委員会、部会、会員企業のご協力により、全ての掲載予定原稿が集まり、2回の出版部会校正を経て、9月15日に校了

【中小部会】

- 人材育成事業
退職者防止策取り組み事例として、旭電設㈱の事例を発表
- 経営力強化事業
 - 国の政策講習
時間外労働の上限規制事例紹介を11月2日の定例会で発表予定
 - 社内業務の効率化
11月13日、11月20日の2日間、協会会議室において、積算業務基礎講習会を開催予定
- 新たな成長への関係創り
中小会員企業・部課長クラス企業間の情報交換
開催日 8月4日(金)
場 所 協会会議室
参加者 15社 32名
テーマ 安全第一は現場のコミュニケーションから~ヒューマンエラーをなくそう~
講 師 河内 理恵 氏
(有限会社アプローチ 代表取締役)
- 会員大会中小部会基調報告
報告題目「中小部会の事業活動~7年間の軌跡と夢」
小委員会開催を重ね、リハーサル、パワーポイントデー

タの修正を繰り返し行い、完成度を高めてきた
通しリハを行い、部会参加者の賛同を得た

【資材部会】

- 1. 会員企業見学会
開催日 11月30日(木)
場 所 TOAナレッジスクエア(兵庫県宝塚市)
参加者 定員40名で案内予定
- 2. 第51回電気工事士技能競技大会関連
(1) JECA FAIR製品コンクール入賞製品等の展示
製品、工具展示 5社、感電体験コーナー 1社
(2) 大会審査応援
技術・技能委員会から依頼を受け、住友電設㈱、栗原工業㈱ 各1名対応
- 3. JECA FAIR 2024 第72回 電設工業展
開催日 5月29日(水)～31日(金)
場 所 東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

【人材部会】

- 1. 電気設備工事業界研究セミナー(開催報告)
日 時 8月26日(土) 13:00～17:00
場 所 大阪産業創造館(大阪市中央区本町)
参加者 69名
(事前登録あり:59名、事前登録なし:10名)
内 容 就活セミナー、出展企業27社による「1分PR」の後、最大5社の企業ブースを訪問(2回:指定、3回:自由)
- 2. 大阪府内工業系高校の再編
大阪府ホームページ、新聞記事に基づき、大阪府内工業系高校の統廃合・閉校の情報を一覧にまとめた

第2号議案 専門委員任命

労務・安全委員会 専門委員1名増員として、旭日電気工業㈱大阪支店 沼田 正寛 氏を推挙

第3号議案 その他

- ・万博海外パビリオンの建設促進に関する大阪府・大阪市の懇談会結果について
- ・万博海外パビリオンの建設促進に関する国土交通省ヒアリング結果について
- ・「働き方改革の推進申入れ」活動のお願いについて(日本電設工業協会発信文書)

業務報告

海外パビリオン建設に関する博覧会協会への相談窓口について

第567回理事会

日 時 11月22日(水) 15:00～15:45
場 所 帝国ホテル大阪 3F「鶴の間」
(大阪市北区天満橋1-8-50)

第1号議案 各委員会事業報告

【総務委員会】

- 1. 辞任者特別表彰(第2号議案で説明)
- 2. 永年勤続者表彰
申請者 22社 108名、表彰者 22社 108名
- 3. 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰(本会が推薦する候補者の選定)

補者の選定)

- ・熟練工部門 洸陽電気工事㈱
(共栄電業㈱ 協力会社) 楠本 昌三 氏
- ・青年部門 トーヨー電気工事㈱ 田上 洸矢 氏

4. 新春賀詞交歓会

日 時 1月16日(火) 17:30～
会 場 帝国ホテル大阪 3階「孔雀の間」

5. 電気設備工事スキルアップ助成金(対象校への交付申請依頼)

2024年1月中旬、対象18校に案内
今回の申請受付をもって、当初設定予算に到達見込みのため、最終案内となる旨記載する

6. 事務局職員の賞与支給(第3号議案で説明)

【経営委員会】

1. 2023年度 官庁懇談会

- (1) 開催日程
・大阪府 都市整備部 住宅建築局 公共建築室 設備課:11月27日(月)
・近畿地方整備局 営繕部:12月5日(火)
・西日本高速道路株式会社:12月18日(月)

(2) 意見交換 議題

聴取した意見を集約し、現在懇談会先と調整中

2. 大阪府下衛星都市への分離発注陳情

大阪府下42市町村への分離発注陳情を11月7日から開始した

3. 青年部会の活動報告

(1) 事業報告

①女性向け研修、意見交換

開催日 9月21日(木)
場 所 ハートンホール大阪
テーマ 「現状を振り返り前向きな一歩を踏み出そう」
「人間関係構築力を高めよう」

講 師 Alive代表 川北 麻紀 氏

参加者 16社 36名

②デイキャンプ活動

開催日 10月21日(土)
場 所 羽衣青少年センター 他
内 容 午前:カレー作り
午後:ピン球リレー、大縄跳び、玉入れ
参加者 132名
北摂ブロック養護施設 62名(児童50、教員12)
青年部会 70名
(運営委員23、一般会員47)

【技術・技能委員会】

1. 第51回 電気工事士技能競技大会(開催結果)

10月26日(木) 大阪府立体育会館 第1競技場 エディオ
ンアリーナ大阪において大過なく開催できた
出場選手 一般の部 24社 29名

内訳 自社従業員 9社 11名
協力会社従業員 18社 18名

高校生の部 6校 12名

2. (一社) 東京電業協会主催 第56回 電気工事士技能競技大会視察

開催日 11月14日(火)
会 場 東京武道館

藤田、請川専門委員を派遣し、大会運営方法の確認と東京電業協会の技術委員と審査・採点基準等の意見交換を行った

【労務・安全委員会】

- 2023年度 登録電気工事基幹技能者 認定講習会
開催日 10月28日(土)、29日(日)
会場 エル・おおさか 南ホール
講師 日本電設工業協会 関西支部会員企業から派遣
受講者 67名
- 2023年度 職長教育
開催日 11月15日(水)、16日(木)
会場 大阪電業協会 会議室
講師 住友電設(株) 林 達也 氏
栗原工業(株) 中村 寛 氏
受講者 11社 21名(定員:30名)
- 2023年度 実技講習会
講習科目 シーケンス制御の基礎
開催日 1回目 11月21日(火)、22日(水)
申込 15名(定員到達)
2回目 12月21日(木)、22日(金)
定員 15名
講習科目 受変電設備の概要と停電・復電操作
開催日 2024年1月9日(火)、10日(水)
定員 18名
開催場所 いすれもきんでん学園

【広報委員会】

- 第30回 電気工学系大学生現場見学(反省点)
 - 大学教員からの意見を取り入れ開催時期を変更して開催したが、大学生の参加が少なかった(4名)
 - 懇談会(学生との質疑応答)冒頭に「電設業界の紹介」ができるよう、資料を準備しておく
- 電気工事士技能競技大会 高校等への見学案内(結果)
案内先 17校(高校 15校、職業訓練校 1校、専門学校 1校)
見学校 6校(高校 5校、専門学校 1校)
見学者 88名(生徒 79名、引率教員 9名)
- 会報秋季号(2024年3月末発行予定)
 - 執筆者の確認
 - 私のふるさと 加藤理事(労務・安全委員会)
 - 随筆 長谷専門委員(総務委員会)
 - 編集後記 田中(晋) 専門委員
 - フォト自慢の変更(案)
 - (旧)大賞 商品券1万円
 - (新)大賞 1万円
 - 2位 5千円
 - 3位 3千円(各ギフトカード)
 - 参加賞 1千円(QUOカード)
 - ※各回、先着20名限定

【中小部会】

- 人材育成事業
 - 1級電気施工管理技士資格取得 集中講習(二次試験対策)
日程 9月23日～10月7日の各土曜日、計3日開催
受講者 18名(来年2月2日合否発表)
 - 退職者を減らす退職者防止策

退職者面談シートをアップデートし、10月30日(月)メールマガジンにより、中小会員企業に対して、再度の活用・提出を依頼した

2. 経営力強化事業

- 国の政策講習
テーマ 「時間外労働の上限規制」について
講師 社会保険労務士法人四ツ橋総合コンサルティング 森 英之 氏
- 社内業務の効率化(積算業務基礎講習)
開催日 11月13日(月)、20日(月)
会場 大阪電業協会 会議室
講師 中小部会内で対応
受講者 8社 20名(募集定員 20名)

【人材部会】

- 府内工業系高校教員との意見交換
案内先 府内工業系15校に府立成城高校を加え、16校
開催時期 2024年2月14日(水)～29日(木)
15:00～17:00
- 大学電気系学科教員との意見交換
案内先 これまでの12校に大和大学を加え、13校(キャリアセンターにも案内予定)
開催時期 2024年2月14日(水)～29日(木)
15:00～17:00

第2号議案 辞任部員の特別表彰

資材部会 部員
志智 伸行 浅海電気(株) 10年

第3号議案 事務局職員の賞与支給

第4号議案 その他

大阪電業協会 2024(令和6)年度 理事会・委員会・各種事業日程(案)

業務報告

行政通達(9月19日～11月22日)

第568回理事会

日時 2024年2月13日(水) 14:30～15:15
場所 ホテルエルセラーン大阪 3F「エルシェラ」
(大阪市北区堂島1-5-25)

第1号議案 各委員会事業報告

【総務委員会】

- 辞任者特別表彰(第2号議案で説明)
- 永年勤続者表彰
日時 1月16日(火) 17:00～
場所 帝国ホテル大阪 5F 八重の間
受彰者 22社 108名のうち60名出席
- 外部表彰への対応
 - 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰式
日時 2月7日(水) 10:00～
場所 大阪府庁 5F 正庁の間
受彰者 熟練工部門
洸陽電気工事(株) (共栄電業(株) 協力会社)
楠本 晶三 氏

青年部門

トーヨー電気工事(株) 田上 洸矢 氏

(2) 【関西支部】電気記念日行事 電気関係諸事業功績者表彰

日 時 3月25日(月) 15:00～

場 所 中央電気倶楽部 5Fホール

受彰者 共栄電業(株) 笠島 浩一(社長)

4. 新春賀詞交歓会開催結果

日 時 1月16日(火) 17:30～

場 所 帝国ホテル大阪 3F 孔雀の間

参加者 総数395名

5. 電気設備工事スキルアップ助成金(対象校への交付申請依頼)

1月12日、対象18校に申請案内を送付済

今年度、当初予算到達見込につき、今年度をもって終了予定

【経営委員会】

1. 新規入会申込企業の審査

企業名 株式会社阪急阪神電気システム

(入会希望日は3月1日)

2. 2023年度 官庁懇談会開催状況

・近畿地方整備局 営繕部

日 時 2023年12月5日(火) 13:25～15:25

会 場 国民會館 12階 武藤記念ホール

出席者 近畿地方整備局5名、大阪電業協会7名、各電業協会10名

・大阪府 都市整備部 住宅建築局 公共建築室

日 時 2023年11月27日(月) 13:50～15:30

会 場 大阪電業協会 会議室

出席者 大阪府4名、大阪電業協会10名

・西日本高速道路(株)

日 時 2023年12月18日(月) 14:25～16:15

会 場 ホテルグランヴィア大阪 20階 鶴寿の間

出席者 西日本高速道路(9名)、関西(8名)、中国(1名) 四国、九州(各2名)

3. 大阪府下衛星都市への分離発注陳情結果

一括発注17市町村、分離発注26市町村(前年と同様)

4. 青年部会活動報告

(1) 事業報告

1) レクリエーション活動

開催日 11月18日(土)

場 所 農業公園信貴山のどか村

参加者 147名

内 容 BBQ・チャリティーオークション

2) 日本赤十字社 大阪府支部 寄付金贈呈

開催日 12月18日(月)

場 所 日本赤十字社 大阪府支部

募 金 200,000円(活動資金として)

(2) 事業予定

1) 大阪府内児童養護施設への図書カード贈呈式

日 時 3月6日(水) 11:00～

場 所 大阪社会福祉指導センター

2) 2024年度 年次総会

開催日 5月10日(金)

場 所 ホテルグランヴィア大阪

【技術・技能委員会】

1. 第51回 電気工事士技能競技大会開催後の取り組み状況

(1) 一般の部 事後検討会

開催日 2月6日(火)

場 所 大阪電業協会

大阪府・大阪市・関西電力送配電(株)の担当者出席の元、当該大会の施工課題に関し、難易度、作業量、作業時間、審査方法等の検証と課題、次年度大会への改善点について検討

2. 第29回 積算技術講習会、第29回 積算競技大会

(1) 第29回 積算技術講習会

開催日 4月16日(火)

会 場 エルおおさか 南ホール

(2) 第29回 積算競技大会

開催日 5月14日(水)

会 場 エルおおさか 南ホール

【労務・安全委員会】

1. 2024年度 新入社員研修会

開催日 4月8日(月)、4月9日(火)

会 場 エルおおさか 南ホール

募集人員 80名予定

2. 第52回 安全大会

開催日 6月28日(金)

会 場 建設交流館

内 容 会員企業から安全活動の取り組み発表を昨年引き続き継続予定

3. 登録電気工事基幹技能者認定講習

2023年度の結果

全 国 受講者 697名 合格者 677名 合格率97.1%

関西支部 受講者 67名 合格者 66名 合格率98.5%

4. 2023年度 実技講習会の開催結果

・講習テーマ 「シーケンス制御の基礎」

第1回開催 2023年11月21日(火)～22日(水)

受講者15名(定員15名)

第2回開催 12月21日(木)～27日(金)

受講者11名(定員15名)

・講習テーマ 「受変電設備の概要と停電・復電操作」

第3回開催 1月9日(火)～10日(水)

受講者13名(定員18名)

【広報委員会】

1. 会報春季号(2024年3月末発行予定)

(1) 執筆者

・私のふるさと 加藤理事(労務・安全委員会)

・随筆 長谷専門委員(総務委員会)

・編集後記 田中(晋)専門委員

【中小部会】

1. 2023年度事業計画進捗状況

(1) 人材育成事業

1) 1級電気工事施工管理技士取得 集中講習

二次検定 受講者18名中13名合格 合格率は72.2%(全国平均53%)

2) 中小部会独自の安全教育

・対応教本第2章「工事賠償責任」を内容とした研修会を、8月19日～23日のいずれかで開催
講師:保険会社に依頼中

3) 退職者を減らす退職防止策

・退職防止取り組み事例の発表:(株)大阪電業社 坂本社長

(2) 経営力強化事業

1) 社内業務の効率化

- ・積算基礎講習会は、2024年11月開催予定

2) その他

①中小部会 会則

- ・中小部会 会則（案）について審議を行い、賛成多数にて承認された

【人材部会】

1. 大阪府内工業系高校教員との意見交換会

日 時 2月21日（水）15:00～

場 所 大阪電業協会 会議室

参加者 教員 8校 9名（予定）

人材部会 8名、中小部会 2名、事務局 2名

2. 大学電気系学科教員、キャリアセンターとの意見交換会

日 時 2月28日（水）15:00～

場 所 関西大学梅田キャンパス

参加者 大学 8校 9名、人材部会 7名、事務局 2名

3. 大阪府主催「合同企業説明会（OSAKAジョブフェア）」への出展

日 時 2月10日（土）終日

・大阪電業協会としてブース出展し、ブース訪問者8名に対し業界PR

来場者の内、88名に対し、企業PRチラシ配付

4. 2024年大学生・専門学校生等対象 電気設備工事業界 研究セミナー

日 時 8月31日（土）13:00～

会 場 大阪産業創造館

第2号議案 辞任専門委員、辞任部員の表彰

広報委員会

専門委員 須戸 清光 三和電気土木工事㈱ 4年7ヶ月

人材部会

部員 秋田 好之 住友電設㈱ 9年0ヶ月

第3号議案 電設協関西支部と日空衛近畿支部の働き方改革共同要請活動

2月6日「働き方改革の推進申入れ」活動として、日建連 関西支部に対し、電設協 関西支部と日空衛 近畿支部で共同要請を行った

要請内容

「適正な休日を考慮した工期設定」他

業務報告

1. 令和5年度会員 大会の収支結果

2. 本部 出版委員会からの依頼事項

1月17日、本部出版委員長の訪問があり、本部発行図書「電設技術」の拡販協力依頼

会 員 往 来

2023年秋季号発刊以降に連絡をいただいた会員企業の往来情報

新規入会

《入会日》	《社名》	《代表者名》	《所在地》
2024年3月1日	㈱阪急阪神電気システム	中谷 健史	〒532-0024 大阪市淀川区十三本町3丁目7番11号 TEL.06-4805-6605 FAX.06-4805-6607

代表者の変更

《変更日》	《社名》	《新代表者》
2023年7月1日	新生テクノス㈱ 大阪支店	目山 秀樹

2024年度 主要行事予定

大阪電業協会、日本電設工業協会 関西支部

行 事	日 程	場 所
◇ 新入社員研修	4 月 8 日(月) ～ 9 日(火)	エル・おおさか 南ホール
◇ 第29回 積算技術講習会	4 月16日(火)	エル・おおさか 南ホール
◇ 青年部会年次総会	5 月10日(金)	ホテルグランヴィア大阪
◇ 第29回 積算競技大会	5 月14日(火)	エル・おおさか 南ホール
◇ JECA FAIR2024 第72回 電設工業展	5 月29日(水) ～31日(金)	東京ビッグサイト
◇ 第71回 通常総会	6 月12日(水)	スイスホテル南海大阪
◇ 第52回 安全大会	6 月28日(金)	建設交流館
◇ 電気設備工事業界研究セミナー	8 月31日(土)	大阪産業創造館
◇ 日本電設工業協会 会員大会	9 月12日(木)	札幌パークホテル
◇ 第52回 電気工事士技能競技大会	10月17日(木)	エディオンアリーナ大阪 (大阪府立体育会館)
◇ 登録電気工事基幹技能者 認定講習会	10月26日(土) ～27日(日)	エル・おおさか 南ホール
◇ 職長教育	11月13日(水) ～14日(木)	大阪電業協会 会議室

知っク! 情報

国や地方自治体が発信している情報を、
どれだけご存知ですか？



【大阪府からのお知らせ】

内閣官房及び公正取引委員会は「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を策定し、公表しました（令和5年11月29日）。

本指針は、価格転嫁が進んでいない「労務費」に関して取りまとめられたもので、事業者（発注者・受注者）が採るべき行動・求められる行動や労務費の適切な転嫁に向けた取組事例、留意すべき点などが提示されています。今後の価格交渉において、ご活用ください。



労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針

【指針の性格】

- ✓ 労務費の転嫁に関する事業者の発注者・受注者の双方の立場からの行動指針。
- ✓ 発注者及び受注者が採るべき行動／求められる行動を12の行動指針として取りまとめ、それぞれに「労務費の適切な転嫁に向けた取組事例」、「留意すべき点」などを記載。

発注者として採るべき行動／求められる行動

- ★【行動①：本社（経営トップ）の関与】
- ★【行動②：発注者側からの定期的な協議の実施】
- ★【行動③：説明・資料を求める場合は公表資料とすること】
- ★【行動④：サプライチェーン全体での適切な価格転嫁を行うこと】
- ★【行動⑤：要請があれば協議のテーブルにつくこと】
- ★【行動⑥：必要に応じ考え方を提案すること】



受注者として採るべき行動／求められる行動

- ★【行動①：相談窓口の活用】
- ★【行動②：根拠とする資料】
- ★【行動③：値上げ要請のタイミング】
- ★【行動④：発注者から価格を提示されるのを待たずに自ら希望する額を提示】

発注者・受注者の双方が採るべき行動／求められる行動

- ★【行動①：定期的なコミュニケーション】
- ★【行動②：交渉記録の作成、発注者と受注者の双方での保管】

《相談窓口》

価格交渉・価格転嫁の相談（好事例の紹介、転嫁の考え方、参考情報の提供など）	下請かけこみ寺（0120-418-618）	
	価格転嫁サポート窓口（大阪府よろず支援拠点 06-4708-7045）	
本指針の記載内容に関する質問	公正取引委員会事務局経済取引局 取引部 企業取引課 （03-3581-3378）	
独占禁止法上の優越的地位の濫用の考え方についての相談	公正取引委員会事務局経済取引局 取引部 企業取引課 （03-3581-3375）	公正取引委員会近畿中国四国事務所 取引課 （06-6941-2175）
下請代金法上の買いたたきの考え方についての相談	公正取引委員会事務局経済取引局 取引部 企業取引課 （03-3581-3375）	公正取引委員会近畿中国四国事務所 下請課 （06-6941-2176）
	中小企業庁事業環境部 取引課 （03-3501-1732）	近畿経済産業局 取引適正化推進室 （06-6966-6037）

大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課
東大阪市荒本北1-4-1 クリエイト・コア東大阪 南館1階
電話番号 06-6748-1066



大阪府

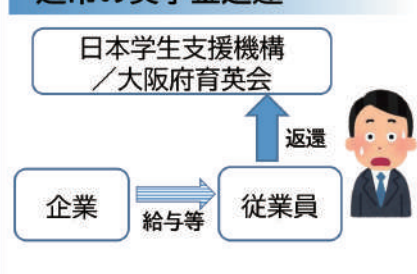
／ 人材確保・定着に！ ／

企業の奨学金返還支援（代理返還）制度

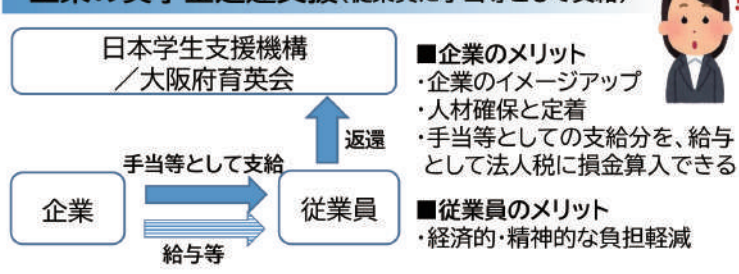
企業のみなさん、従業員を応援する本制度の活用をご検討ください！

奨学金制度とは、経済的理由により進学をあきらめることなく、自らの能力や適性等にあった進路を自由に選択できるように支援していく制度で、国（日本学生支援機構）のほか、大阪府育英会などが実施しています。原則返還が不要な給付型と卒業後返還する貸与型があり、大学生の49.6%（※）が何らかの奨学金を受給しています。
※大学・昼間部の場合（日本学生支援機構「令和2年度 学生生活調査」）

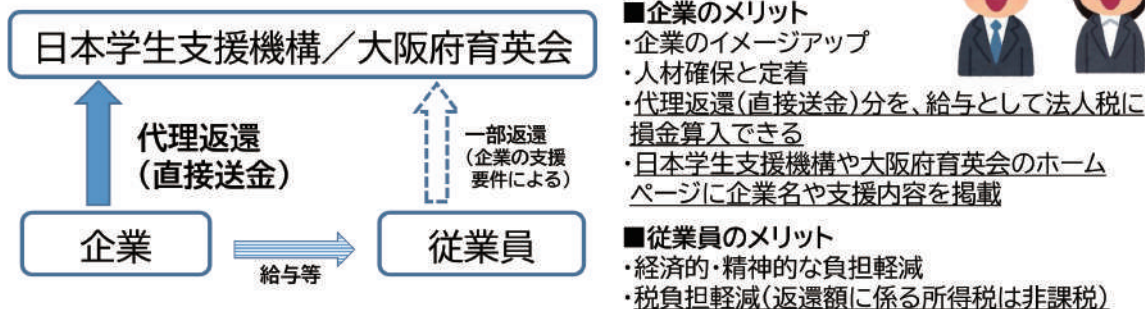
通常の奨学金返還



企業の奨学金返還支援（従業員に手当等として支給）



企業の奨学金返還支援（代理返還）制度



企業の代理返還制度は、日本学生支援機構が令和3年4月から、大阪府育英会が令和4年7月から実施しています。詳しくは各団体のホームページでご確認いただくか、直接お問い合わせください。

独立行政法人日本学生支援機構
奨学事業戦略部 奨学事業総務課 総務係
電話 03-6743-6029

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kigyoshien/index.html>



公益財団法人大阪府育英会
返還収納課
電話 06-6357-6273

<https://www.fu-ikuei.or.jp/dairihenkan/>



奨学金返還支援に取り組む企業をPRします！

奨学金返還支援制度を導入している企業が、大阪府主催の合同企業説明会に出展される場合は、当日パンフレットに企業情報を掲載するなど、求職者にPRします。

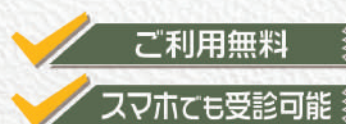
大阪府企業の奨学金返還



【発行元】大阪府 商工労働部 雇用推進室
就業促進課 企業支援グループ
TEL :06-6360-9074
FAX :06-6360-9079



OSAKA しごとフィールド
中小企業人材支援センター



求人への応募を
増やす

自社に合った
人材を見つける

早期離職を
防止する

人材採用・定着の ための 3つのツール

- ☑ 採用力診断ツール
- ☑ 選考支援ツール
- ☑ 定着支援ツール

利用企業数 **1,000社突破!**

成功実感企業は利用している! 自社の特性

応募者を深く理解でき、
自社にマッチする人を探すのに役立った。
(T社・製造業)

指摘された弱みに取り組むことで、
採用に繋がったと思う。
(N社・建設業)

採用選考や人員配置の
判断材料になりました。
(S社・建設業)

力を入れるべきところに
気付くことができました。
(N社・技術サービス業)

スマホ・PCから簡単受診!



しごとフィールド 診断ツール

<https://3kobuta.com/mikata/>



ご利用は
コチラ
から

まる
分
か
り



男女いきいき 各種制度

登録・認証・表彰

随時
応募受付!

大阪府は男女がいきいきと働くことのできる職場づくりを応援します!

「女性の能力活用」や「仕事と家庭の両立支援」など、働く場における男女共同参画に向けた取組みを進め、性別にかかわらずいきいきと働くことのできる元気な企業・団体をめざして頑張っているみなさんを「男女いきいき・元気宣言」登録事業者、「男女いきいきプラス」認証事業者として登録・認証し、その取組を応援します!

STEP
1

「男女いきいき・元気宣言」 事業者登録制度

募集の対象

- (1) 大阪府内に事業所があり、男女がいきいきと働くことができる取組を行っている事業者
- (2) 大阪府内で2人以上の女性従業員（うち少なくとも1人は正社員）を雇用している事業者

登録の要件

- 以下のうち、いずれかに取り組んでいること
- (1) 女性の能力を活用するための取組
 - (2) 男性の育児参加を支援するための取組
 - (3) 仕事と家庭・その他の活動が両立できるようにするための取組
 - (4) 男女がともに働きやすい職場づくりのための取組

STEP
2

「男女いきいきプラス」 事業者認証制度

募集の対象

「男女いきいき・元気宣言」登録事業者
（「男女いきいき・元気宣言」事業者登録と、プラス認証は同時に応募できます!）

認証の要件

- (1) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・都道府県労働局への届出
- (2) 厚生労働省のホームページ「女性の活躍推進企業データベース」で一般事業主行動計画を公表
- (3) 上記ホームページで、女性の職業選択に資する情報の公表を、以下のとおり実施。
常時300人以下の労働者を雇用する事業者 全16項目中、1項目以上
常時301人以上の労働者を雇用する事業者 全16項目中、9項目以上（※「男女の賃金の差異」を必ず公表すること）

STEP
3

「男女いきいき」事業者表彰制度

「男女いきいきプラス」認証事業者のうち女性活躍の推進に積極的に取り組む事業者を表彰します!



女性活躍推進法が 改正されました!

女性活躍推進法が改正され、一般事業主行動計画の策定・届出義務及び自社の女性活躍に関する情報公表の義務対象が、常時雇用する労働者が301人以上から101人以上の事業主に拡大されました。
（令和4年4月1日施行）

制度の詳細、応募書類のダウンロードは大阪府ホームページをご覧ください

大阪府 男女いきいき

検索



二次元コードからもご覧いただけます⇒

中小企業をはじめ、多くの事業者様の登録・認証を受けています。性別にかかわらずいきいきと働ける職場づくりを進めている、これから進めたい事業者様のご応募をお待ちしています!

担当：大阪府 府民文化部 男女参画・府民協働課
男女共同参画グループ

E-Mail: danjo-fumin@sbox.pref.osaka.lg.jp

電話：06 (6210) 9321 / FAX：06 (6210) 9322

会員諸変更届

(西暦) 年 月 日

一般社団法人 大阪電業協会 御中

会員名 _____

〔1. 会員名 2. 代表者 3. 協会連絡担当者 4. 住所 5. 電話番号 6. FAX番号〕が
下記の通り変更になりましたのでお届けします。
(変更箇所を○で囲んでください。)

旧	
新	
変更年月日	
備考	

※代表者・連絡担当者の役職もお書きください。
※代表者・連絡担当者にふりがなをつけてください。

(一社)大阪電業協会 T E L 06-6363-4077
 F A X 06-6363-4079

※この用紙をコピーしてご使用ください。

キ
リ
ト
リ
線

はじめに、このたびの令和6年能登半島地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、被災地での復旧作業に従事されている方に深く敬意を表します。皆様がいつもの生活に戻られますよう、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

会報リニューアル後、早くも5回目の発刊となりました。今号も会員の皆様に有益な情報を気軽にご覧になっていただけるよう、見やすく読みやすい工夫を凝らしてお届けです。では、その一端をご紹介します。

この度、令和5年度会員大会が帝国ホテル大阪で開催されました。9年ぶりに関西圏での開催となります。大阪電業協会が主体となり、全国の支部・電業協会会員企業の方々を招いて「和」をテーマに華々しく催された様子が報告されています。

新春賀詞交歓会では、4年ぶりに人数制限を設けない開催となり、多くの方の参加をいただき、盛大に催されました。参加いただいた皆様は、時間外労働上限規制に対する業界をあげた活動の展開や、業界の魅力を高める活動を推進していく決意を誓い合いました。

第51回電気工事士技能競技大会には、一般の部23社29名、高校生の部6校12名が参加、しのぎを削りました。どの作品も本当に素晴らしく、日頃の練習の成果を十分に発揮された事と思います。入賞された方々、誠におめでとうございます。

フォト自慢も第3回目となり、13名19点の応募がありました。今回も広報委員会全員の厳正な審査により、大賞を決定させていただきました。応募していただいた全ての方の作品を1点ずつご紹介しております。次回はあなたの作品を披露してみませんか。各賞を揃え、応募をお待ちしております。

最後になりますが、本号発刊にあたり、ご多忙の中ご投稿いただきました方々へ心より厚く御礼申し上げます。

引き続き、皆様にご満足いただける会報を目指してまいりますので、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(田中(晋) 記)



あなたの特技を 会報に掲載して みませんか?

自薦、他薦、どちらでもOKです。
協会事務局電話:06-6363-4077
メール:webmaster@osdenkyo.or.jp
まで、ご連絡ください。
内容を確認後、事前連絡の上、
当方より取材に伺います。

会員企業限定

- ◆漫画やイラストが得意な方
- ◆絵画や書道が得意な方
- ◆コラム(文章)を書くのが得意な方
- ◆収集家の方(趣味で何かを集めている方)
- ◆日曜大工(DIY)が得意な方
- ◆ペットをたくさん飼っている方
- ◆業務内外を問わず、資格をたくさん持っている方

編集委員(広報委員会)

担当副会長	横井正温	専門委員	内橋史和
常任理事	早坂稔	//	田中晋策
広報委員長	一瓢秀次	//	丸谷良美
理事	井下智仁	//	田中健太郎
//	植谷信之	//	熊迫仁士
//	松井克彦	//	小林健一
//	林拓司	//	奥村武央
//		//	平尾彰宏

魅力ある電設業界の 未来のために



一般社団法人
大阪電業協会

季刊会報

春季号 (176)

発行日 2024年3月29日

発行者 広報委員会

発行所 一般社団法人 大阪電業協会

大阪市北区野崎町9番8号

永楽ニッセイビル5F

TEL. (06) 6363-4077

FAX. (06) 6363-4079

Eメール webmaster@osdenkyo.or.jp

ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp>



印刷所 株式会社三友社
大阪市北区東天満2丁目7-19
TEL. (06) 6881-1795